

LION



今月の特集

ライオンズクラブ統計

10



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

OCTOBER 2016 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌(毎月20日発行)第59巻第4号 2016年10月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可



ライオンズクラブ国際協会

FWT全日本女性フォーラム in 東京

4人に1人は女性会員!!
4年に1度は女性ガバナーの誕生!!

ライオンズクラブ100年の歴史の中で、1987年台北における国際大会で女性会員が認められ29年となります。この間、女性の活躍が求められながらも、なかなか活躍の場が見いだせませんでした。しかし2015年1月、FWTが日本からスタートし、以来、女性及び家族会員の定着と女性リーダーの育成を目的に、地域に則した活動を展開しております。中でも国際協会100周年記念奉仕チャレンジに添った視力奉仕や食料支援は、女性の目線で感性を生かしながら、各地区において重要な役割を果たしております。これらの奉仕を通して、GMT・GLTとの連携を図りながら、女性会員の増強・女性リーダーの育成や家族会員の活躍の機会を拡大し、更なる飛躍を目指してまいります。

全国八複合地区のFWTが一堂に会し、女性のトップリーダーの講演を聞き意識の高揚を図りたく、下記の要領でFWT全日本女性フォーラムを開催致します。

FWT第5会則地域副リーダー
長澤千鶴子

FWT全日本女性フォーラム in 東京

- 日 時：2016年10月21日(金) 13:30～16:30 (13:00開場)
会 場：衆議院憲政記念館 講堂 (東京都千代田区永田町1-1-1)
講 演：グッドラン・ビョート・イングバドター国際第2副会長
特別講演：小池百合子東京都知事 (東京ウィルLC) 2016/8.31現在
：内閣府・子供の貧困対策課
主 催：FWT(家族及び女性チーム)
参 加 費：無料(参加ご希望の方は各複合地区FWTコーディネーターへご連絡ください)



- 4 国際会長メッセージ ● 「今も変わらぬライオンズの意味」
- 5 The Power of Service ～奉仕の力 ② ● 国境を越えた統一アクティビティ
- 6 **SCENE** ● 埼玉県大宮グリーン／兵庫県豊岡
- 10 **CLUB REPORT**
10：静岡県富士吉原／12：愛媛県大洲／14：栃木県足利西／14：鹿児島県枕崎／
15：宮城県仙台五城／15：兵庫県西宮甲子園／16：東京桜門／16：長野／17：熊
本県御船／18：スイス：クール・コラ／18：ハンガリー：ショブロン
- 19 3分間ライオンズ・アクティビティ編 ● LCIF 視力ファースト・活動
- 20 LCIF理事長セミナー
- 24 特集 ● ライオンズクラブ統計
24：統計Ⅰ 世界のライオンズ／28：統計Ⅱ 日本のライオンズ／32：統計Ⅲ アク
ティビティ
2015-16年度のクラブ・会員動静の会則地域別、主要国別、複合地区別データや、
アクティビティ集計などの統計データで、国内外の情勢を把握する他、本誌が
国内全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの集計結果も掲載する。
- 34 国際理事だより ● 「未来の100年を目指して」佐藤宜之
- 35 LIONS NEWS CASSETTE
35：八複合地区が推薦する2017～19年国際理事候補者が決定／35：第55回
OSEALフォーラムは香港で開催／36：2015-16年度下半期のLCIF対日交付金／
36：会議録／36：国際大会開催予定／37：Touchstone Stories 試金石ストー
ー8 眼鏡リサイクル
- 38 Foundation Impact
- 39 LCIF FILE ● 国際社会に対する奉仕を全会員参加で！
- 40 **TOPIC** ● 熊本地震被災地支援
「南阿蘇に集った全国のライオンズ」
- 42 獅子吼
42：只井保／43：岡島俊郎／44：石山栄次／45：乳井宏資／46：有請貢
- 48 表紙の背景 ● 鳥根県隠岐の島町
- 49 **ふるさと探訪** ● 群馬県桐生市
- 54 READERS ROOM
54：読者から／読者プレゼント
55：もう一度読みたい「あの記事」 ● 「厚い壁」
- 56 EDITORS ROOM
56：ライオン誌例会のススメ／次号予告
57：編集室 ● 「2016-17年度『ライオン誌』日本語版編集長方針」佐藤義則
- 58 日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President

今も変わらぬライオンズの意味



Chancellor
Bob Corlew
Lions Clubs International
President

ライオンズクラブが生まれて間もない頃の『ライオン誌』のページは、「ライオンズの目的」「ライオニズムの意味」「ライオンズの価値」といった記事で埋められています。「奉仕に献身するビジネスマンのクラブ」という概念はまだ新しく、組織が正しい方向に向かっていると、自分たちを納得させる必要があったかのようです。彼らはライオンズクラブの存続性にさえ疑問を抱くこともあり、確信の無さは1922年1月、アメリカ・ワイオミング州シャイアンのA・ベイカー地区ガバナーの言葉にも見て取れます。

「私は人生の中で、崇高な理想を掲げて結成された組織がしばらくは繁栄しても、やがて重要性を失っていくのを目の当たりにしてきました。ライオニズムも同じ運命をたどるのでしょうか？ そうはならないでほしいものです」

しかし、ライオンズはたゆむことなく、奉仕を貫いてきました。友情も大切な要素ではありましたが、何よりも優先されたのは奉仕だったのです。1927年、アメリカ・ペンシルベニア州ジョンズタウンのアービング・キャンプ国際会長による会長メッセージのタイトルには「アクティビティがクラブを作る」とあり、次のように書かれています。

「ただ集まって、食卓を囲むだけのクラブがあるでしょうか。そんなクラブがあるなら、私たちの偉大な、私欲を捨てた組織の理念そのものが呼び掛ける奉仕の要請に、応えていないクラブもあることになります」

2017年の100周年が間近に迫る今、私たちは先達が正しかったことを知っています。奉仕がライオンを作るのであり、奉仕こそ私たちの目的、そして本質なのです。ここ数年ほど、その事実が明らかになったことはありません。私たちは、2018年6月30日までに1億人に奉仕するという目標を立て、ライオンたちに100周年記念奉仕チャレンジを通して青少年、視力、食料支援、環境事業を行うよう呼び掛けました。

当初、この目標が達成されるかについては危惧もありました。実際にはもっと多いと分かっていたものの、国際本部への報告ではクラブが年間に奉仕していたのは800万人に過ぎなかったからです。実に喜ばしいことに、ライオンズの奉仕の受益者は最近1億人を超えました。目を見張る理想を掲げ、目標を立て、それを実現した組織の一員であることを誇りに思ってください。

私たちに実現出来ることはまだまだたくさんあります。ライオンズを必要とする人々、社会に貢献する機会は増え続け、登るべき次なる山々が生まれています。共に新たな高みへの到達を目指し、これからも奉仕を続けていきましょう！

2016-17年度国際会長
ボブ・コーリュウ

国境を越えた統一アクティビティ

日本ライオンズ草創期に

取り組んだ国際的アクティビティ「インド救ライ」は、1959年に始まった。当時、世界には1千万人に及ぶハンセン病患者がおり、その4分の1以上がインドの患者だった。日本ライオンズが派遣した宮崎松記博士（後に熊本ライオンズ入会）は、6カ月にわたりインドのハンセン病事情を視察。当時のネール首相からも協力を依頼された。報告を受けたライオンズはインド救ライ募金を開始。マスコミに働き掛けて、毎日新聞、NHKがキャンペーンを展開した。そしてアジア救ライ協会を発足させ、63年5月にインド政府とライ対策への協力の協定書が交わされ、アグラ市郊外に専門病院が建設されること

となった。

インド救ライ・センターは67年1月に完成。現地へ派遣された宮崎博士ら医師団はセンターで患者を待つだけでなく、日本ライオンズから寄贈されたマイクロバスで巡回診療も行った。1日に1500人を超える患者が長い行列を作ることもあり、献身的に治療と投薬を続けた。

センターはその後、現地専門医と医療従事者の育成や、病状研究の進展のため、インド政府直轄の医学協議会により運営管理されることになった。59年の決議から17年、ライオンズによる寄金8400万円を含めた善意の募金は総額7億4千万円を超え、日印両政府の補助も合わせると総額10億円もの支援となった。



完成したインド救ライ・センターの壁には「この治療棟は日本地区における国際ライオンズ協会が寄贈したものである」と日・英・印の文字で記したプレートがはめ込まれた

埼玉県・大宮グリーン ライオンズクラブ

取材/砂山幹博 写真/宮坂恵津子

踊りたい、もっと好きになりたいもっとうたい

2008年に文部科学省が発表した学習指導要領により、11年から小学校、12年から中学校、13年には高等学校でダンスが必修化。若者に人気のロックダンスやヒップホップダンスが体育の授業に導入されている。ダンスを教えるスクールも増え、通う子どもが多くなってきた一方、踊り方が分からない、踊れないという子どもも多くいるようだ。

「体験するチャンスと、見るチャンスがあれば、ダンスを好きになって授業での取り組み方も変わるかもしれない」

大宮グリーン ライオンズクラブ(46人)の若鷺谷みさ江はそう考え、自身が会長となった今年度、チャリティー・ダンスコンテストの開催を決意した。折よくクラブの25周年、ライオンズクラブ国際協会100周年とい

うタイミング。1年前からクラブ一丸となって続けてきた地道な告知活動が実を結び、8月28日の大会当日には、埼玉県内の小・中・高校生38組314人が参加する大規模なダンス大会となった。

ジャンルはさまざまで、ヒップホップにチア、ジャズを踊るチームもある。ステージでの立ち居振る舞いや表情から大人と

見紛うダンスを披露するチームもあったが、踊り終わった後のあいさつで、子どもらしいあどけなさが戻るのが印象的だった。応援に駆け付けた保護者を始め、千人を超える来場者の入場料の一部がさいたま市に寄付され、青少年の健全育成のために使用されるという。クラブでは今後も青少年育成事業を続けていく考えだ。





兵庫県・豊岡ライオンズクラブ

取材／井原一樹 写真／関根則夫

科学の実験で彩られた子どもたちの夏休み

7月24日から9月4日までの約1カ月半、兵庫県では7会場で青少年のための科学の祭典が開かれている。豊岡ライオンズクラブ（金子勇夫会長／43人）が後援する豊岡会場は7月30、31日の2日間にかけて実施され、豊岡近隣の高校や中学校の生徒が、それぞれのブースで科学の実験を展示した。

他の会場と比べ、人口が少ない地域だが、出展は多く、毎年2千人ほどが訪れるなど注目度は高い。また、来場者のうち、小学校低学年の子どもの割合が高いのも豊岡会場の特徴だ。この日も数多くの子どもたちが会場を訪れ、入浴剤やステンドグラスを作るものから、紙の落下の加速度を感じるものなど、科学のさまざまな分野の実験を体験し、目を輝かせていた。

豊岡ライオンズクラブが科学の祭典の協賛するのは今回で13回目だ。元々、クラブではサッカーなど子どもたちのスポーツ大会の協賛しており、メンバーに教職員などの知り合いも多かったため、科学の祭典にも協賛することになった。以前は他のライオンズクラブも協賛に名を連ねていたが、今年は豊岡ライオンズクラブのみ。

豊岡ライオンズクラブではアクティビティの対象者からアンケートをとるなど、時代の変化に合わせて事業の精査を行っている。そのため、先のことは分からない。だが、クラブでは青少年の育成は重要だと感じている。また、科学の祭典に出展している子どもたちの真剣な姿を見ると、支援を続けていきたい気持ちになるといふ。





静岡県・富士吉原ライオンズクラブ

16年続くベトナム人学生の受け入れ



7月18日から8月5日にかけて、富士吉原ライオンズクラブ（佐野寛会長／86人）はベトナムからグエン・ミー・リンさんとホー・タイン・トゥイさんの2人の女学生のホームステイを受け入れた。彼女たちは今年4月24日にベトナムのハノイで行われた日本語スピーチ・コンテストに出場し、富士吉原ライオンズクラブに選ばれて日本に研修旅行でやってきたのだ。クラブでは2人の滞在中、職場体験やキャンプ、花火大会などさまざまなイベントに参加してもらった。

クラブがこの事業を始めたのは2000年のこと。スピーチ・コンテストの正式な後援団体となったのもその時からだ。当時、ベトナムで日本語を学ぶ需要が急増。しかし、日本語教師や教材が足りない状況だった。そこで富士吉原ライオンズクラブは中学生から、小学校時代に使っていた辞書を集め、現地に寄付。その際にJICAがスピーチ・コンテストを実施していることを知り、視察することにしたのがきっかけだ。現在は国際交流基金が実施しているこのスピーチ・コンテストは日本の企業も注目している。最近では他の後援企業も参加者の受け入れを行っているが、富士吉原ライオンズクラブがその先駆けとなった。ベトナムから学生を受け入れるということ、金銭的にも大変なことだが、それ以外にも

いろいろと困難なことがある。例えば、アレルギーの有無だ。あらかじめ申告してもらった上で、健康診断も受けてもらっている。コミュニケーションについては、さすが日本語スピーチ・コンテストに出ている学生たち。ほぼ問題なく会話が出来る。これにはホームステイを受け入れるメンバーの家の負担が軽くなり、助けられているという。コミュニケーションがあまりとれなかったならば、ここまで長く続けられなかったかもしれないという意見もあった。

夏まつさかりの7月31日には田宿川たらい流し川まつりに参加。メンバーと共にたらいに乗って川を下った。また、午後はふじさんめっせで職場体験。お客さんに対して流暢な日本語でコミュニケーションをとっていた。この日は天気も良く、かな

クラブ REPORT

●投稿要領：

アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に、700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57号下。



り暑かったが、それでもベトナムと比べると涼しいという。今までクラブが受け入れてきた学生は合計22人。今もそれぞれが各方面で活躍している。今年は富士吉原ライオンズクラブが結成55周年を迎えることもあり、OBOG会を作ることも決定した。富士吉原でのホームステイ

を経験したことで、彼ら、彼女たちの中にも奉仕の精神が根付いている。そのため、まだ構想段階でしかないが、ゆくゆくはクラブでこのOBOG会をベトナム初のライオンズクラブに出れば良いと考えている。
 (取材/井原一樹 撮影/関根 則夫)

336-A地区

愛媛県・大洲ライオンズクラブ

夏の肱川、きつかったけど 忘れられない思い出



ているジュニアトライアスロン大会in大洲である。

1995年の第1回大会から大洲市教育委員会が主催、青年会議所や商工会議所の他、大洲ライオンズクラブ(古野青弘会長/51人)を始めさまざまなボランティア団体、企業が参加し支えているが、きつかけを作ったのは一人のライオン——今年度クラブ幹事を務める古森敏夫であった。

「腰を悪くしてリハビリをしている時、ライオンズの先輩の勧めで県内のトライアスロン大会へ出場することに。それなりに練習をして参加したところ、完

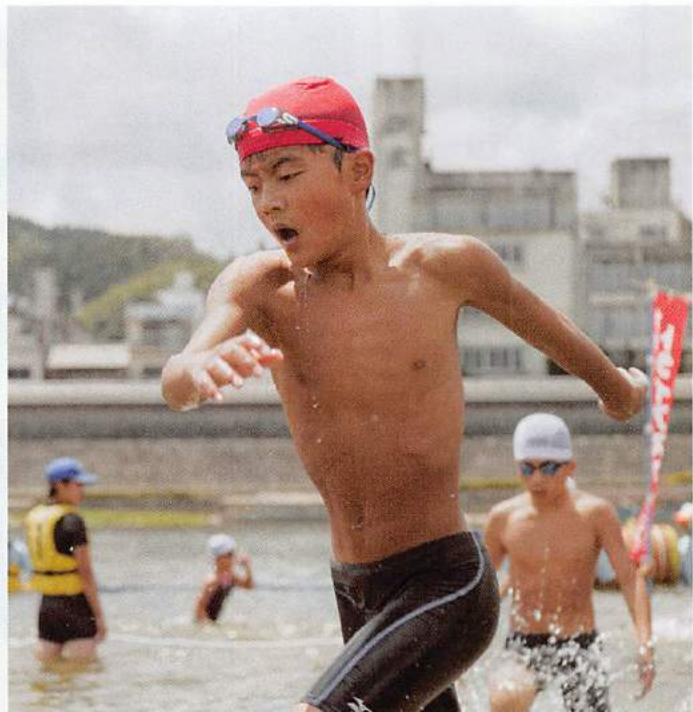
走出来、味わったことのない達成感を覚えました」(古森)

ちょうどその年も、クラブ幹事になることが決まっていたため、古森はトライアスロン

江戸時代から明治にかけての名残をとどめていることから伊予の小京都と称される大洲市。街の中央をゆったりと流れる清流肱川は日本三大鵜飼の地にも数えられ、甲冑を着て泳ぐ古式

泳法、主馬神伝流発祥の地としても知られている。

夏休みに入って最初の日曜日、この肱川を舞台に子どもたちの熱戦が繰り広げられる。今やすっかり大洲の夏の風物詩となっ



で何かアクティビティが出来ないかとクラブに提案。結果的に青少年育成と清流肱川を大切にす意識の高揚を目的としたこの大会に落ち着いた。ジュニア

0歳、中学生200歳。バイクは小学生6歳、中学生10歳。最後のランは小学生2・4歳、中学生3・6歳でタイムを競い合った。

トライアスロン自体それほど歴史がない中、今年で22回目を数える息の長い大会となっている。

参加者の多くが、親がトライアスロンをしているという子ども。その他、卒業の思い出にと

大会当日は気温35度の猛暑日となったが、県内外から121

体育の教員が生徒を連れて参加したこともある。今治市のある

人の小中高生が集い、小学生の部と中高生の部に分かれてレースが行われた。スイムは小学

学校では、この大会で勝利することを目指してスポーツ少年団まで出来たという。過去には、この大会への出場がきっかけで





オリンピックのトライアスロン
競技に出場した選手もいるなど、
将来トップアスリートとして活
躍出来るジュニア競技者の確保
や育成を担う受け皿としても期
待されている。

大洲ライオンズクラブは主に、会
場の設営と運営サポートで大会

に関わっている。裏方として競
技を見つめてきたライオンが皆
口をそろえて「きつそうだった
子どもがゴールした時の笑顔が
たまらない」と話していたのが
印象的だった。

川直紀

(取材／砂山幹博 撮影／長谷

333-B地区

栃木県・足利西ライオンズクラブ

韓国・慶州ナザレ園へ 国際奉仕活動を実施



5月12日からの3日間、足利西ライオンズクラブ（43人）はメンバー7人と他3人の計10人で、韓国・慶州のナザレ園を訪問した。慶州ナザレ園は1982年に作家上坂冬子さんの発表した『慶州ナザレ園——忘れられた日本人妻たち』で世に知られるようになった施設。ここにいるのは戦前、戦中に朝鮮人男性と結婚し、戦後も朝鮮にとどまった日本人妻たちだ。

ナザレ園に到着した日は緑の風がそよぐ絶好の天気。おみやげなどを理事長の宗美虎先生に渡し、談話室へ。入所されているおばあちゃんたちは予想以上に健康的で朗らかで、一人が童謡「ふるさと」を歌いだし、そこにいた全員の大合唱となったのが印象的だった。

翌日はナザレ園の礼拝堂で、同行して頂いたシャンソン歌手の石坂びんがさんのミニコンサートを開催。1曲目は日本語と韓国語で「釜山港へ帰れ」。近隣から集まってきた韓国人も総立ちで日韓友好ムードの漂うすばらしい雰囲気となった。ナザレ園創設者の金龍成さん（会長／岩崎年春）は奉仕に生涯を捧げられ、現理事長の宗美虎先生も高齢となった日本人妻たちの人生最後の旅路を共に歩んでおられる。礼拝堂の正面に掲げられている「愛」の文字。言葉で語ること

6月30日、枕崎ライオンズクラブ（長野義哉会長／43人）は、市内及び近隣にある全小学校5校に対し、近年発刊された新シリーズをメインとする児童図書を寄贈した。

この事業を実施することになったきっかけは、当クラブに入会してまだ在籍年数が短い若いライオンたちの「生意気かもしれないが、許されるものなら若いライオン目線で実りあるアクティビティについて考えてみたい」という純粋な提案だった。若いライオンたちは、未来を担

337-D地区

鹿児島県・枕崎ライオンズクラブ

若い会員の思いを全員で実現 小学校5校に児童図書寄贈



子どもたちに夢や希望のもととなる知識や想像力を養ってもらうには何かが必要かと真剣に討論した。そして、出た結論が今回の児童図書を贈るアクティビティだった。

単に図書寄贈という言葉だけを聞けば、特に真新しさも斬新さもないと感じるかもしれない。だが、我がクラブの若いメンバーたちには強いこだわりがあった。それは、寄贈する本が、時代に合った新刊のものであること。各学校によってさまざまである図書室の現状を無視する

ことなく現場の声を重視すること。寄贈本の中に必ず自分たちなりに「この本はぜひ読んでほしい」と思うものを入れることなどだ。

地元の子どもたちに対する思いを形にしようと行動を起こした若いメンバーたち。そして当クラブ全会員が彼らの思いを理解し、惜しみないバックアップで実現した今回の図書寄贈のアクティビティ。輝く目をした子どもたちに贈った本は合計337冊にも上った。

（幹事／島原香治）

兵庫県・西宮甲子園ライオンズクラブ

夏休み直前の緩みがちな時期に 薬物乱用防止教室を開催



連日30度を超える日が続く7月15日、西宮甲子園ライオンズクラブ(22人)は西宮市立鳴尾中学校で、全校生徒640人と教職員並びにPTA役員の参加の下、薬物乱用防止教室を開催した。

「喫煙・飲酒・危険ドラッグがどれほど発育期の体に悪い影響を与えるか?」の話に始まったこの教室では、「薬物の種類とその規制法律」「薬物依存症」「タバコと発ガン率」などの少し専門的な内容に「アヘン戦争勃発」「ドーピング問題」など話題性のある話をおり混ぜながら、

パワーポイントを使って授業を進めた。最後は「薬物の誘いからきっぱりと断る勇気」を入念に説明し、夏休み直前で緩みがちな生徒たちの気持ちを引き締めた。講演終了後に、全生徒に感想文を書いてもらい、薬物乱用防止教室を締めくくった。

スポーツ界におけるドーピング問題を始めとして、危険ドラッグ・麻薬・覚せい剤などの薬の影響や怖さを、次世代を担う子どもたちに伝えていくことが、ライオンズの誓いにもうたわれている「社会奉仕に精進する」

に連じると考えている。

今回の西宮地区初めての薬物乱用防止教室の開催に当たり、西宮市薬物乱用防止協議会副会長でもある私が、一般社団法人西宮市薬剤師会に協力を求め、教育委員会を通して市内小・中学校に呼び掛けたところ、鳴尾中学校での開催となった。ライオンズクラブ単独での開催を進めるよりも、やはり公的機関との共催で教育委員会へ働き掛けることが、薬物乱用防止教室実施の近道であると思う。

(会長/瀧川秀樹)

6月8日、仙台五城ライオンズクラブ(門馬吉蔵会長/56人)は結成50周年記念事業として、仙台市青葉区の大町西公園駅前広場に時計台を贈った。

大町西公園は1875(明治8)年に開園。花見の名所として知られ、仙台市民の憩いの場所となっている。しかし、施設の老朽化も目立ったことから、仙台市は2005年、公園の再整備事業に着手し、これまで桜と芝生のお花見広場整備などに取り組んできた。寄贈した時計台は、昨年12月に開通した仙台

市地下鉄東西線大町西公園駅前広場南口メインエントランス付近に設置された。

当クラブでは結成50周年を迎えるに当たり、「五城らしく50年・さらに進化を」というコンセプトの下、五城らしさを考える事業を企画。それが、大町西公園駅前広場に「仙台五城ライオンズクラブ奉仕の杜構想」のシンボルとなる時計台の寄贈だった。今後は結成100周年に向かって更にクラブを進化させるべく、時代のニーズをくみとりながら、地域社会と共生する奉仕活動の

宮城県・仙台五城ライオンズクラブ

結成50周年を記念して 時計台を公園に寄贈



実践を心掛けていくことを考えている。

式典には仙台市稲葉信義副市長を始め地域の関係者に出席頂き、ライオンズクラブからは石川達雄ガバナードも駆け付けるなど盛大な除幕式が開催された。

今後この時計台が西公園のシンボルとして、「待ち合わせ場所など、人が集まるランドマークになってくれれば」と期待をしている。利用者と共に新たな時を刻んで頂きたい。

(ホームページ・PR情報委員長/高橋健一)

330-A地区

東京桜門ライオンズクラブ

60年にわたる活動に 国際会長アワードが授与される



6月13日、一般社団法人日本ライオンズの誕生を祝う会の席上で、山田實敏国際会長から東京桜門ライオンズクラブ（浅野みゆき会長／38人）の若松井健治に国際会長アワードが授与された。これは若松井の60年にわたるライオンズ活動に対する功績をたたえて贈られたものだ。

若松井は、1950年代に静岡県を中心に活躍した。静岡ライオンズクラブを始め、多くの新クラブ結成に鋭意努力し、331・C地区の発展に貢献した。

70年代後半には母校である日

本大学卒業生による当クラブを結成。日本初のユニバーシティライオンズクラブとなった。

その後、81年東京セントポールライオンズクラブ（立教大学）、96年東京駿河台ライオンズクラブ（明治大学）、2005年東京白門ライオンズクラブ（中央大学）と東京法政ライオンズクラブ（法政大学）の5クラブが結成され、後に念願の大学系5クラブによるユニバーシティライオンズクラブの礎となった。その後ユニバーシティライオンズクラブは、特性を生かして活動を積み重ねている。

また医療支援として日本大学医学部や日大病院を通じ、カンボジアに医療チームを派遣。若手医師・看護師とクラブ会員で編成されたチームを率いた若松井は混乱する現地でも多くの人を救済した。青少年育成では、オリンピック選手を目指す学生を支援。静岡県内に、アイスクリーム工場を建設するなどしている。

これらは若松井のライオンズに対する、情熱と愛情あつてのことだ。今回の国際会長アワードメダルの授賞は当クラブにとつても大変な誇りである。

7月7日、長野ライオンズクラブ（西宮登喜男会長／135人）

は7月第1例会において阿部守一長野県知事の入会式を行った。

334・E地区（長野県）では20

12年5月21日、宮下満栄地区ガバナー（当時）の下、長野県と包括的連携協定を締結。連携協定の実効性を高めるため、2015年度キャビネットに連携協定推進室を設置し、ライオンズクラブエクストヤ、長野県主唱の「信州あいさつ運動」への参画等、多岐にわたる連携を重ねてきた。現職の県知事がライオンズク

334-E地区

長野ライオンズクラブ

阿部守一長野県知事が 名誉会員として入会



クラブに入会することは極めて異例だ。協定締結後4年間の取り組みが結実し、増田徳造前ガバナーの依頼によって実現した。入会に当たっては、長野ライオンズクラブが地区を代表して受け入れ、前会長である若西條賢治がスポンサーとなり、入会日は協定締結日からちょうど4年の節目である16年5月21日とした。

阿部知事からは「伝統ある長野ライオンズクラブの一員として参画出来ることを名誉で光栄に思ふ」としながら、「子どもの教育・貧困や格差の問題等、長野県が取り組むべき課題は山積しており、クラブと県行政が同じ方向を向いて県の発展のために尽くしていけるよう取り組んでいきたい。未来志向でクラブの一員としてがんばる」という力強い決意表明を頂いた。

これにより、奉仕のニーズを的確にとらえながら、県との連携によるライオンズクラブの地域づくりへの一層の貢献とライオンズクラブの「市民権」獲得への大きな道が開けることが期待される。

（広報委員長／大橋一登）



337-E地区

熊本県・御船ライオンズクラブ

途方に暮れた震災の中感じたライオンズクラブの大きさ



御船ライオンズクラブ（福富壽会長／48人）が活動する御船町は熊本市から車で約25分、北辺を益城町と隣接した人口約1万8千人の町だ。4月14日と16日に発生した地震により、避難6191人、全半壊家屋2279軒というかつてない被害が出た。町の中心を一級河川御船川が流れているため、水害には慣れていたが、地震の記録はなく、町民は絶望さへ忘れるほどの、途方に暮れた状況に陥った。当クラブのメンバーも全壊被害も含

め全員が被災した。

最初の1週間は、混乱の中、東日本大震災で活躍したボランティア等が駆け付けて復旧への足がかりを作ってくれた。また、5月初旬には全国から6クラブのメンバーが被災者への炊き出しを実施。その後も続々と日本各地から支援の手が差し伸べられ、ライオンズクラブの大きさを実感した。今まで何のつながりもなかったクラブから義援金や支援物資が届けられる意外な展開に驚くと共に感謝の気持ち

でいっぱいになった。

キャビネットからもさまざまなアクションがあり、ボランティアへの物資支援活動など復旧への応援はとても助かった。がれき撤去作業などの応援もあったが、ライオンズは義援金などの物的支援や、人脈による専門的な法律相談の迅速さの方が効果を発揮すると思った。ライオンズの支援は、こと難しい手続きがなく、直に必要な所に手が差し伸べられる。将来的にライオンズクラブをもっと強化することは社会的に必要なことだ。

例えば、今回一番被害の大きかった益城町、西原村にはクラブが存在しない。もしそこでライオンズが活動していたら、復興に向けて随分違ったのかもしれないと感じた。

今回の災害では全国各地のたくさんのライオンズクラブから支援して頂いた。深く感謝申し上げる。復興の道のは決して楽ではないが、ライオンズのモットーである「ウィ・サーブ」を強く心に留め、活動を継続していく所存である。（広報・I委員長／福味総一郎）

LIONS ON LOCATION

スイス：クール・コラ ライオンズクラブ
 日々障害者を癒やす
 セラピー・ホースを寄贈



スイスでは、アイスランドから来た、チエコの有名サッカー選手と同じ名前の馬が子どもたちや大人たちを癒やしている。きっかけを作ったのは、クール・コラ ライオンズクラブだ。彼らはアウホフ・クール農場にセラピー・ホースを提供するための基金を設立した。

この農場ではセラピー・ホースが脳性まひ、自閉症、脊髄損傷患者、行動障害者のために活躍している。馬の歩くりズムと骨盤の動きは、人間の骨盤の動きに似ているという。そのため、乗っている人の気持ちを落ち着かせる効果が高いのだ。

クラブが買ったのは10歳になる馬。パロシユ・リヨンと名付けられた馬の名は、チエコのサッカー選手、ミラン・パロシユに由来する。これは、この馬が、パロシユがとても重要なゴールを決めた日に生まれたからである。

このクラブではセラピー・ホースが脳性まひ、自閉症、脊髄損傷患者、行動障害者のために活躍している。馬の歩くりズムと骨盤の動きは、人間の骨盤の動きに似ているという。そのため、乗っている人の気持ちを落ち着かせる効果が高いのだ。

クラブがパロシユ・リヨンの購入の際に支払った1万1千ユーロのうち、6千ユーロはクールで開催されたクリスマス・マーケットで、ソーセージやケーキ、ホット

クラブがパロシユ・リヨンの購入の際に支払った1万1千ユーロのうち、6千ユーロはクールで開催されたクリスマス・マーケットで、ソーセージやケーキ、ホット

トワインなどを販売した利益から出されている。残りのお金はクール・コラ ライオンズクラブが設立したセラピー・ホース基金から拠出された。

ローマ帝国時代から歴史と共に歩んできた町、シヨブロン。ハンガリー北西端に位置するこの町はモニュメントや、歴史的な建造物がブダペストの次に多く存在している、寶石箱のような町だ。そんな歴史的な街並みを視覚障害者も楽しめるようにと、シヨブロン ライオンズクラブによって縮尺模型が作られた。視覚障害者からの反響が大きく、ライオンズへは感謝の言葉が数多く届いている。

LIONS ON LOCATION

ハンガリー：シヨブロン ライオンズクラブ
 歴史的な建造物が並ぶ町
 シヨブロンの立体縮尺模型



縮尺模型はブロンズで作られており、縦約2尺、横約1・2

シヨブロン ライオンズクラブは観光客が多く訪れる場所に設置したこともあり、視覚障害者のもとより、障害者を持っていない観光客にも人気のスポットとなった。

1991年に結成された。国内では最初のライオンズクラブだ。ハンガリーは長く社会主義の国だったが、89年に体制が崩壊。10月にハンガリー共和国憲法が制定され、ハンガリー第三共和国として生まれ変わった。そのためシヨブロン ライオンズクラブはハンガリーの市民団体の先駆けでもある。

ベルリンの壁崩壊につながる約1千人の亡命者を出した汎ヨーロッパ・ピクニックの舞台となったシヨブロンを観光する際は縮尺模型にも注目だ。

3分間 ライオンズ アクティビティ編



LCIF
視力ファースト・活動

「全ての人に視力を」の実現に向けて

クラブや地区が地域社会で視力保護活動を実施するのに対し、視力ファースト(SF)は世界規模での失明根絶を目指したプログラムです。

「全ての人に視力を」という彼岸を目指し、国際失明予防協会(IAPB)や世界保健機関(WHO)といった国際機関や、各国政府、眼科医療機関、NGO、企業などと手を携え、さまざまな方法で失明との戦いを繰り広げています。

視力ファースト交付金の申請は、地区または複合地区の視力ファースト委員会と地域の視力ファースト技術顧問が協力してニーズの調査を行った上で事業提案書を作成し、提出します。申請事業の審査・承認を行うのは、年に2回、1月と8月に開催される視力ファースト諮問委員会です。活動資金は2度の資金調達キ

ャンペーン、CSF及びCSFIIで集められた約3億5千万ドルから拠出され、これまでに102カ国で千件以上、2億4100万ドルを投じて多岐にわたる視力保護事業が実施されてきました。



SFは主に経済的、社会的、または地理的な問題から眼科医療を受けられない人々を対象に、治療やり取り、予防といったサービスの提供、医師や看護師などの人材教育、インフラ整備、目の健康に関する啓発活動、政府への提言などを行います。

主な事業例には次のものがあります。白内障・世界中で視覚障害の大きな原因となっている。SFは784万人に手術を提供。

オンコセルカ症(河川失明症)・ブヨにかまれることで感染する寄生虫感染症。アフリカと中南米で約3700万人が罹患、1億人がリスクにさらされている。年に1回程度の薬の経口投与で抑制可能で、SFは2億5100万人に薬を配布。

トラコーマ…予防可能な失明の最大

原因。ハエを媒介して感染し、睫毛が目の内側に入り込み眼球を傷つけることで失明する。SFは1300人の外科医に睫毛乱生症手術を訓練、40万人以上が手術を受け、7200万回分以上の薬を配布。

糖尿病性網膜症…世界の3900万人の失明者のうち約5%がこの病気によるもの。SFは150万人以上への啓発活動、2千人以上の専門家の訓練、2万3千人以上の手術、14万人以上の検査等、総合的な活動を実施。

SFは他にも、小児失明、屈折異常、視覚障害者へのリハビリや教育など、世界各地で多様な事業を展開しています。詳しい情報はLCIFのウェブサイトに掲載されています。

(www.lionsclubs.org/JA/index.php)

LCIF理事長セミナー

8月24日、山田實紘LCIF理事長による330～337複合地区の公式訪問が行われ、愛知県名古屋市の名古屋マリオットアソシアホテルでセミナーが開催された。山田理事長はパワーポイントの資料を使って交付金の種類やデータを説明しながら、LCIFの現況や自らの考えを1時間近くにわたり語った。ここではその要旨をテーマごとにまとめた。

設立49年目のLCIF

LCIF（ライオンズクラブ国際財団）は今年で設立49年目になり、来年度は50周年を迎えます。ご存じの通り、災害救援、視力保護、青少年の育成などを支援し、設立以来これまでに出された交付金は総額9億5千万^{ドル}、日本円にして1千億円に上ります。初めの頃に比べて交付

額はどんどん増えていきますから、今は年間40億円ぐらいと記憶してください。

LCIFはライオンズを支援すると言われますが、ここで一つ皆さんに再認識して頂きたいのは、LCIF（ライオンズクラブ国際協会）とLCIFは一体のものだという事です。昨年度を移行期間としてLCIF

Fは独立した理事会を持つこととなりました。これまではLCIFの理事数は40人でLCIFの国際理事が兼務していました。これを半分の21人に減らして専任の理事を置くことで、それぞれの職務に徹してもらいます。しかし、独立したとは言ってもLCIFとLCIFは執行委員会の下で動いており、完全に分離したわけでは



ありません。一つの屋根の下にLCIとLCIFの2本の柱があると認識してください。

LCIFとLCIの奉仕分野

LCIFは視力、災害、青少年、人道奉仕の四つの重点分野で交付金を支給しています。視力についてはヘレン・ケラーの「盲人の騎士たれ」というスピーチを始まりとして、ライオンズクラブの主要な奉仕分野になってきました。昨年度、私は国際会長として、今後も視力に力を入れるべきか、もっと他に力を入れるべき分野があるのではないかと問い掛け、全世界のライオンズ50万人に尋ねるアンケートを行いました。集計の結果、最も多かったのは糖尿病です。2番目は小児がん、3番目は環境保全で、4番目は飢餓の問題、

視力は5番目でした。来年度、100年祭を迎えるに当たって、これら五つを新たな主要奉仕項目とする事になりました。まず初めに取り組みるのは糖尿病の問題です。

LCIFの視力ファーストについては、日本の皆さんに多大なご協力を頂いた視力ファースト・キャンペーンで集まった資金がありますので、まだ5年以上は交付金を拠出していくことが出来ます。また糖尿病の合併症では失明が大きな問題で、これは視力ファーストの交付金の対象になっています。視力への取り組みはこれからも続きます。

大規模事業を可能にする交付金

交付金にはいくつかの種類があります。一般援助交付金は二つから三つのクラブ、理想的にはそれ以上のクラブが資金調達に関与することが

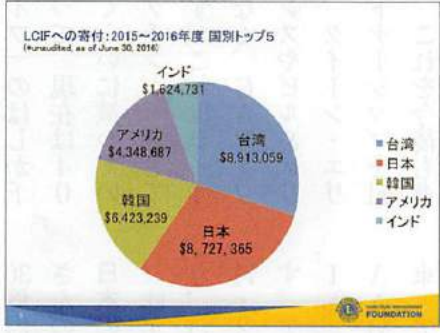
条件になっています。それ以上のクラブ、となるとキャビネットです。ここで皆さんも気付かれると思いますが、日本ではアクティビティはク

ラブがやるものであって、キャビネットはやるべきじゃないという間違った情報が伝わっています。ある地区に60のクラブがあるとして、一つひとつでは小さなことしか出来ませんが、キャビネットが今年これをやるというテーマを出して60クラブが集まれば、ものすごく大きなアクティビティを行うことが出来ます。地区ガバナーにはそれ程のリーダーシップがあるわけで、大いに指導力を発揮して頂きたいと思います。一般援助交付金は最高額約1千万円が交付されますから、1千万円の費用を自分たちで集めてこの交付金を活用すれば、2千万円の大規模な事業

段階に応じた災害援助


災害援助には5種類の交付金があります。熊本地震に対しては3億から4億円という大きなお金が交付されますし、東日本大震災には18億円近くが交付されました。このうち緊急援助金は地区ガバナーの申請から24時間以内に承認されるもので、水や食料などの必需品の支援です。ここで気を付けなくてはならないのは、ライオンズが積極的に救援活動に関与する必要があるという点です。交付金を利用して自分たちが救援活動に汗を流すということが肝要だと思います。大災害援助金は熊本や東日本の震災に交付されたもので、長期的な計画を立てて援助に取り組むことが出来ます。災害準備交付金は出来て間もないので、まだ皆さんが使っていない交付金だと思います。災害に備えて備品を用意しておいたりするためのものです。日本では今、DMATという災害派遣チームの配備が進んでいます。熊本地震や東日本大震災でも出動しました。私の病院にもそれがありません。緊急時には飛び出していきます。5人でチームを作りますが、一つのチームに必要な備品にだいたい50万円の費用が掛かります。各地区にはアラート委

2015～2016年度 LCIF交付金: 日本		
用途指定交付金(主に災害)	6件	US\$300,000
一般援助交付金	12件	US\$224,828
四大交付金	18件	US\$457,625
国際援助交付金	10件	US\$136,065
合計 46件の交付金	総額	US\$1,118,518

100ドルの寄付でできること (ほんの一例)

- 100人の子どもにはしかの予防接種
- スペシャルオリンピックスの選手に聴力検査
- 被災家庭に一週間の食料
- ライオンズクエストのクラスで30人にライフスキル教育
- 白内障手術2～3件
- 貧しい一家を支える起業資金融資 (マイクロファイナンス)





委員会があると思えますので、災害準備交付金を使って全日本でその整備を行うというのも良いアイデアだと思います。他には、がれき除去などを対象とする地域復興交付金がありますし、一般援助交付金を活用することも出来ます。

ワン・シヨット、ワン・ライフ

以前はアフリカ大陸で1日に2千人ぐらいの子どもが、はしかが原因で亡くなっていました。「ワン・シ

ヨット、ワン・ライフ」のはしかり防プログラムによって、現在は400人から500人ぐらいに減っています。それだけワクチンが普及してきたということ。これはライオンズクラブだけでなく、GAVIワクチン・アライアンスやビル&メリンダ・ゲイツ財団、クイーン・エリザベス財団とパートナーシップを組んで行っています。これを今後も進めていくために、100周年までに

30億円を集めようとしています。皆さんのご協力をお願いします。

日本の貢献

昨年度の寄付を会則地域別に見ると、OS E A Lのクラブ寄付率が71・2%、個人寄付率が23・5%です。アメリカはクラブ寄付率が42・1%、個人寄付率が1・5%、I S A A M E（インド・南アジア・中東・アフリカ）はクラブ寄付率20・9%、個人寄付率1・3%で、OS E A Lの寄付が突出しています。そのOS E A Lの中でも、この円グラフ

(21頁掲載)にあるように

日本、韓国、台湾が大きな貢献をしています。

では、日本にどれぐらいの交付金がきているかというと、昨年度は1億2千万円ぐらいです。日本からはお金を出さばかりで戻ってこないという声がありますが、これだけの額が交付されています。

諸外国との違い

諸外国におけるLCIFの考え方の違いを見たいと思います。

フランスには国内にライオンズの財団がありま

す。2万7千人ぐらいの会員がいますが、年間に40億円を集めています。LCIFが全世界で集めるのと同じぐらいの額を、フランスは一つの複合地区で集めて、人道的な支援に充てているわけです。一人当たりの金額は年間15万円になります。日本はLCIFに貢献していますが、広く人類への奉仕に対する寄付で考えると、まだまだ少ないということです。日本のクラブは高額の会費を集めて事務費や人件費にお金を掛けていますが、運営費を抑えてその分をLCIFに回すことが出来れば、非常に大きな金額になります。

もう一つご紹介したいのは、メルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF)についての考え方です。アメリカでは、例えば「今年の幹事はものすごくがんばってくれた。彼にMJFの称号を贈ろう」ということで、一人20ドルというように会員がお金を出し合っただけを集め、MJF献金を行うということをやっています。ですからMJFのピンをつけているということは、クラブでそれだけ高く評価されたという大変な名誉なのです。お金がある人が寄付すればよいということではなしに、こうした方法もあるということをお覚えておいてください。

8月3日、山田實紘LCIF理事長は熊本地震で大きな被害を受けた益城町、西原村、御船町、熊本市の視察を行った。視察には鈴木晋男LCIF理事、榎本舜治LCIFエリア・コーディネーター(西日本)、吉見章一337複合地区議長らが同行。多くの家屋が倒壊した地域の被害状況を視察した他、熊本市都市建設局の担当者の案内で建設中の仮設住宅や供用前の仮設住宅内部の視察も行った。御船



町では御船ライオンズクラブと協力関係にある災害復旧支援ボランティア団体、一般社団法人TSUNAGA R Iの活動拠点を訪問。全国から集まったボランティアの若者たちから活動報告を受け、今必要とされている支援について話を聞いた。更に、熊本市経済観光局の担当者の案内で熊本城の被害状況を視察。熊本市役所では高田晋副市長から震災被害の現況報告を受



熊本地震に対しては、LCIFから大災害援助金25万ドルが交付された他、世界から250万ドルの指定献金が寄せられている。これらの交付金を管理する組織として、熊本震災大災害復旧対策委員会が発足した。委員長には吉見337複合地区議長が、委員には榎本LCIFエリア・コーディネーター(西日本)、藤井勝彦前337複合地区議長、桑崎陽彦前337・E地区ガバナー、田中孝文337・A地区ガバナー、



久保秀之337・C地区ガバナー、喜禎光弘337・D地区ガバナー、安田倭也337・E地区ガバナーが就任。栢森新治、鈴木両LCIF理事がシニア・アドバイザーを、佐藤宜之国際理事、不老安正、大久保彦吉田憲史各元国際理事が顧問を務める。

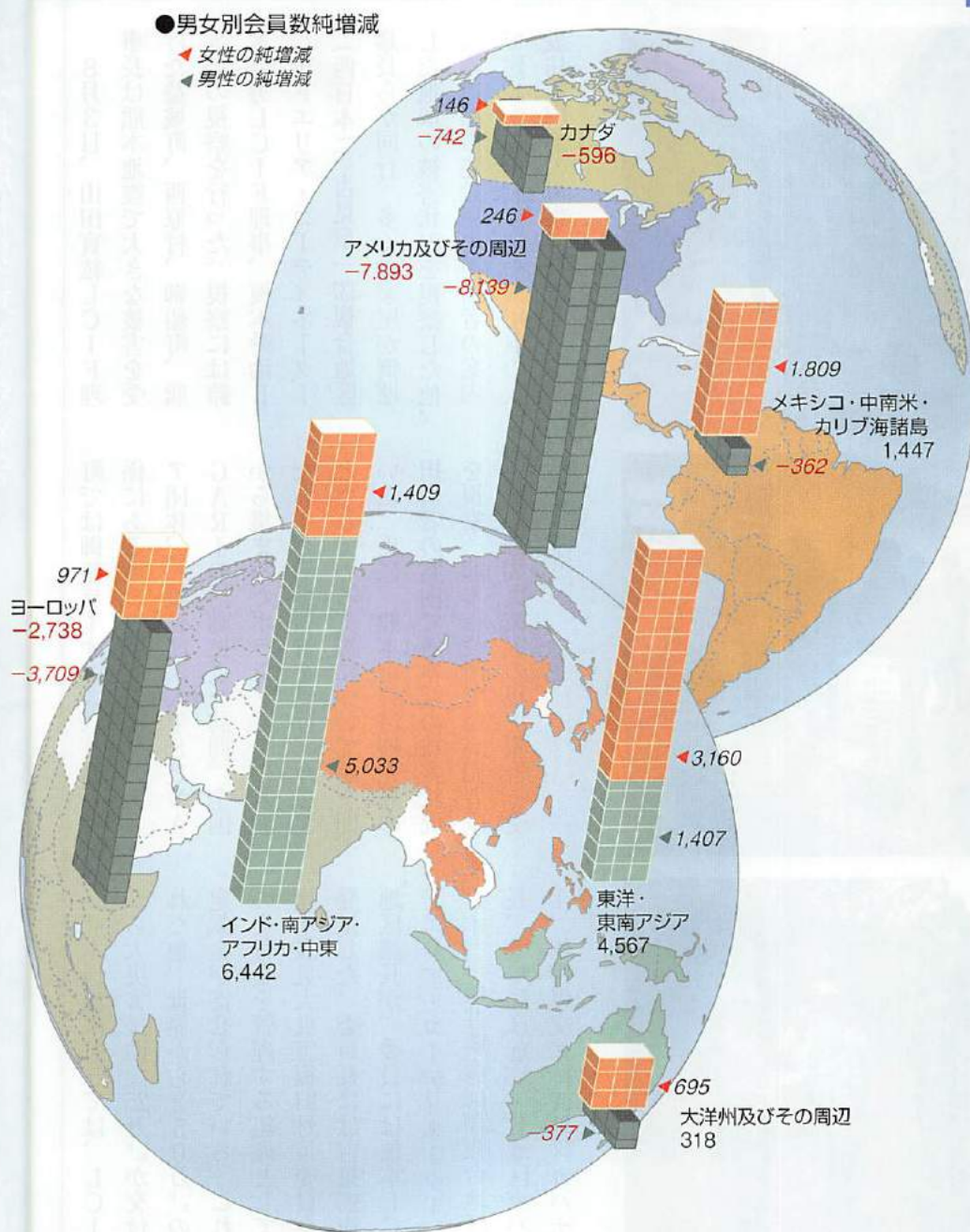
今回の視察を踏まえ、被災地の復旧・復興を目指して、LCIF交付金を活用した支援事業が本格化することになる。



ライオンズクラブ統計

各会則地域の情勢

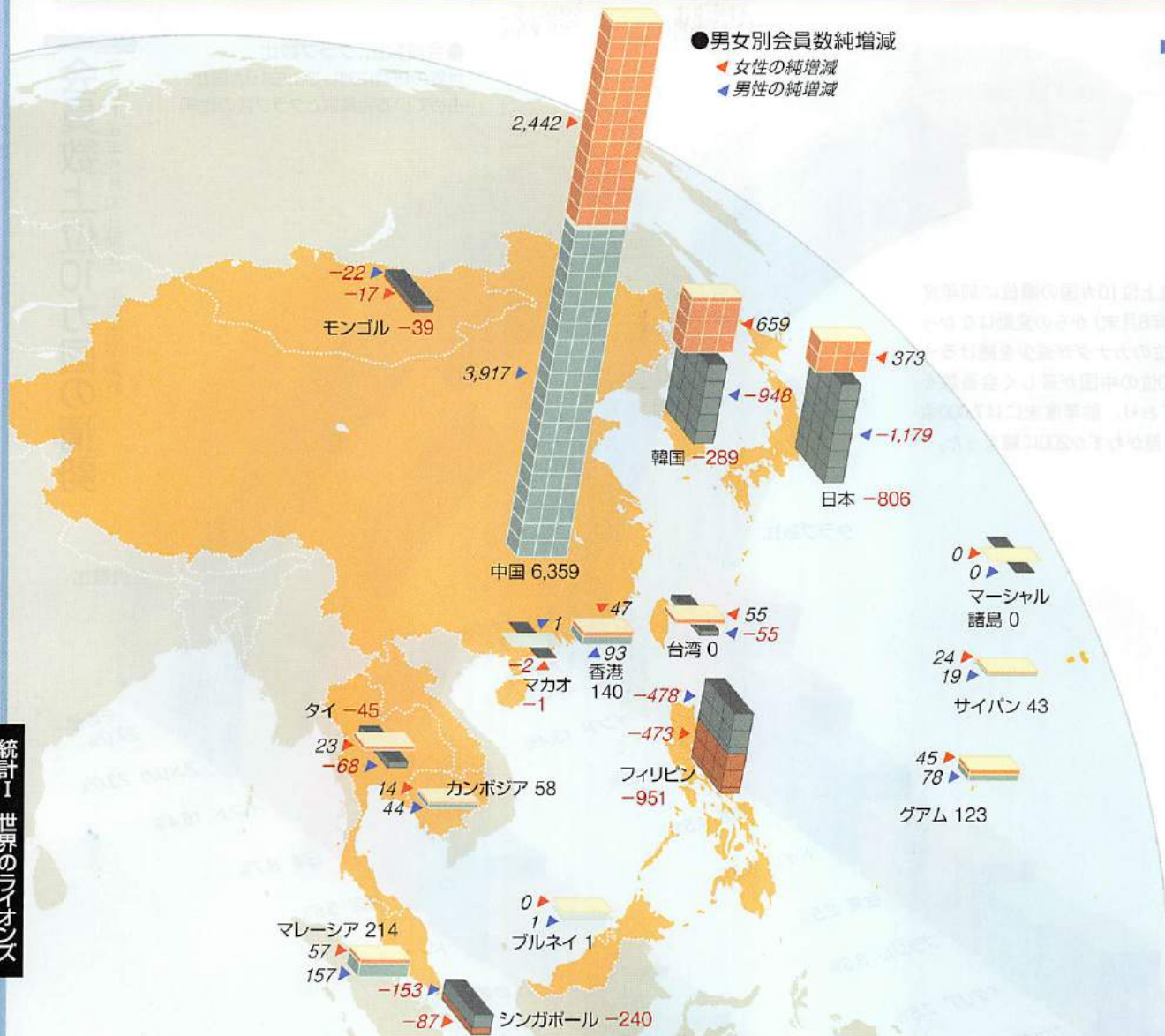
〔2016年6月30日現在〕国際本部集計



世界と日本のライオンズクラブの情勢、クラブ・アンケート調査結果、アクティブイ年間集計を掲載

会則地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員の割合(%)
アメリカ及びその周辺	11,677	110	342	-232	325,109	36,883	44,776	-7,893	97,444	30.0%
カナダ	1,553	8	30	-22	36,432	3,997	4,593	-596	10,903	29.9%
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	3,984	162	127	35	100,905	17,285	15,838	1,447	45,614	45.2%
ヨーロッパ	9,534	117	139	-22	254,005	20,303	23,041	-2,738	54,711	21.5%
インド・南アジア・アフリカ・中東	9,563	743	641	102	308,107	69,469	63,027	6,442	70,831	23.0%
東洋・東南アジア	8,532	413	185	228	309,763	59,685	55,118	4,567	85,470	27.6%
大洋州及びその周辺	1,903	60	50	10	45,169	7,577	7,259	318	16,051	35.5%
合計	46,746	1,613	1,514	99	1,379,490	215,199	213,652	1,547	381,024	27.6%

* 年度末クラブ数・会員数にはステータス・クオも含む



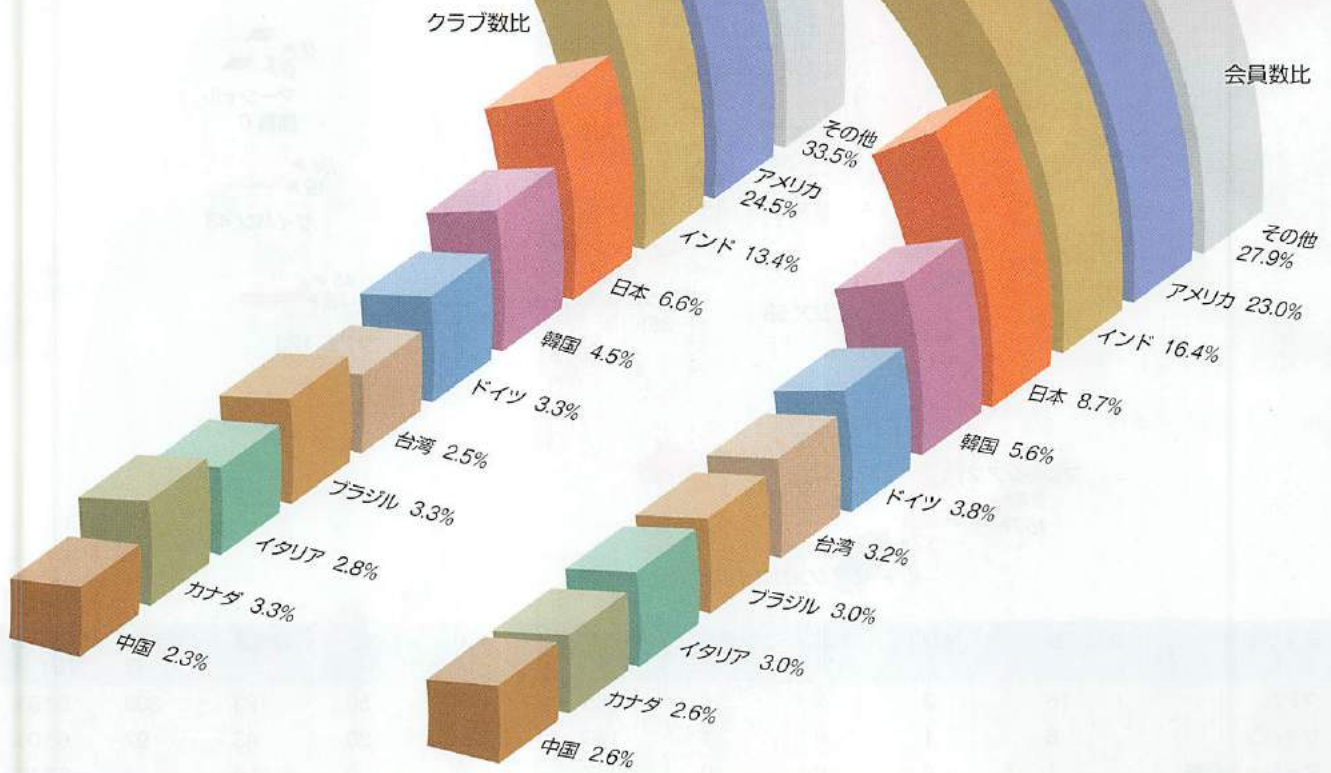
国及び地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員の割合(%)
グアム	16	2	2	0	585	181	58	123	309	52.8%
サイパン	6	1	0	1	146	63	20	43	92	63.0%
マーシャル諸島	1	0	0	0	7	0	0	0	4	57.1%
台湾	1,161	23	13	10	43,478	9,489	9,489	0	12,468	28.7%
フィリピン	372	33	37	-4	11,479	2,435	3,386	-951	5,246	45.7%
香港	77	6	0	6	1,935	453	313	140	521	26.9%
マカオ	2	0	0	0	49	2	3	-1	12	24.5%
マレーシア	283	10	1	9	8,119	1,230	1,016	214	2,258	27.8%
シンガポール	88	4	5	-1	2,261	509	749	-240	853	37.7%
ブルネイ	2	0	0	0	38	2	1	1	3	7.9%
タイ	270	12	4	8	7,374	1,154	1,199	-45	2,975	40.3%
日本	3,102	14	39	-25	120,316	13,780	14,586	-806	30,514	25.4%
韓国	2,083	66	53	13	77,580	14,904	15,193	-289	16,283	21.0%
中国	1,057	240	29	211	36,179	15,396	9,037	6,359	13,857	38.3%
モンゴル	5	0	2	-2	79	10	49	-39	49	62.0%
カンボジア	7	2	0	2	138	77	19	58	26	18.8%
合計	8,532	413	185	228	309,763	59,685	55,118	4,567	85,470	27.6%

*年度末クラブ数・会員数にはステータス・クオも含む

会員数上位10カ国の情勢
 「2016年6月30日現在」国際本部集計

●会員数比、クラブ数比
 世界の総数に対して上位10カ国が占めている会員数とクラブ数の比率

■会員数上位10カ国の順位に前年度末(2015年6月末)からの変動はなかった。第9位のカナダが減少を続ける一方、第10位の中国が著しく会員数を伸ばしており、前年度末には7,000余りだった差がわずか200に縮まった。

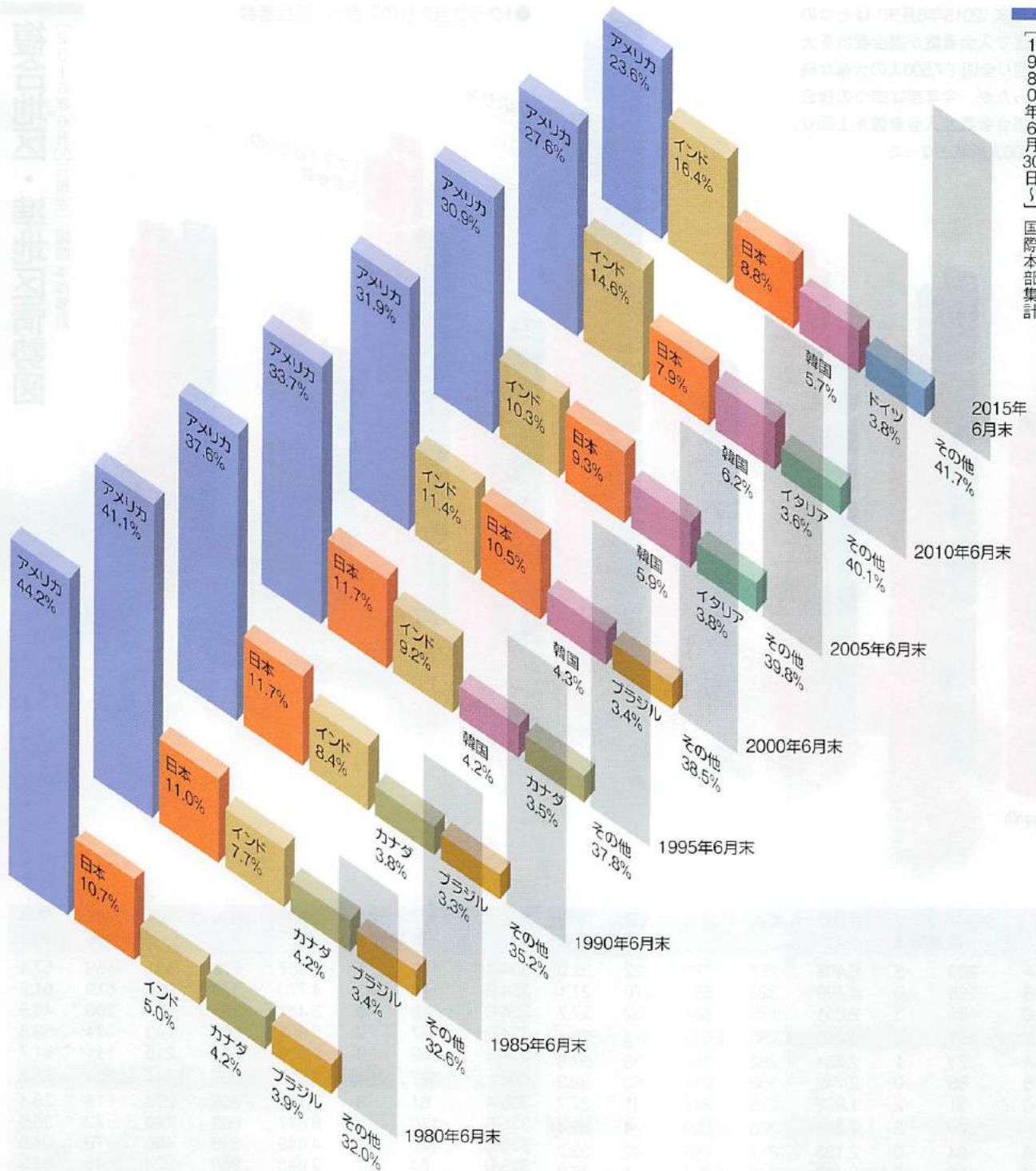


地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員の割合 (%)
アメリカ	11,446	108	338	-230	317,914	36,097	43,954	-7,857	94,158	29.6%
インド	6,274	407	468	-61	226,870	46,931	46,056	875	49,575	21.9%
日本	3,102	14	39	-25	120,316	13,780	14,586	-806	30,514	25.4%
韓国	2,083	66	53	13	77,580	14,904	15,193	-289	16,283	21.0%
ドイツ	1,556	12	1	11	52,156	2,446	2,287	159	8,068	15.5%
台湾	1,161	23	13	10	43,478	9,489	9,489	0	12,468	28.7%
ブラジル	1,529	30	68	-38	41,825	5,794	7,068	-1,274	17,760	42.5%
イタリア	1,324	15	14	1	41,264	3,712	4,578	-866	9,285	22.5%
カナダ	1,551	8	30	-22	36,372	3,989	4,589	-600	10,867	29.9%
中国	1,057	240	29	211	36,179	15,396	9,037	6,359	13,857	38.3%
その他	15,663	690	461	229	385,536	62,661	56,815	5,846	118,189	30.7%
合計	46,746	1,613	1,514	99	1,379,490	215,199	213,652	1,547	381,024	27.6%

* 年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

会員数上位5カ国会員数比の推移

〔1980年6月30日〕国際本部集計



統計Ⅰ 世界のライオンズ

会員数上位5カ国の世界の会員数に占める割合を、本誌がデータを保有している1980年以降、5年ごとに図に表した。

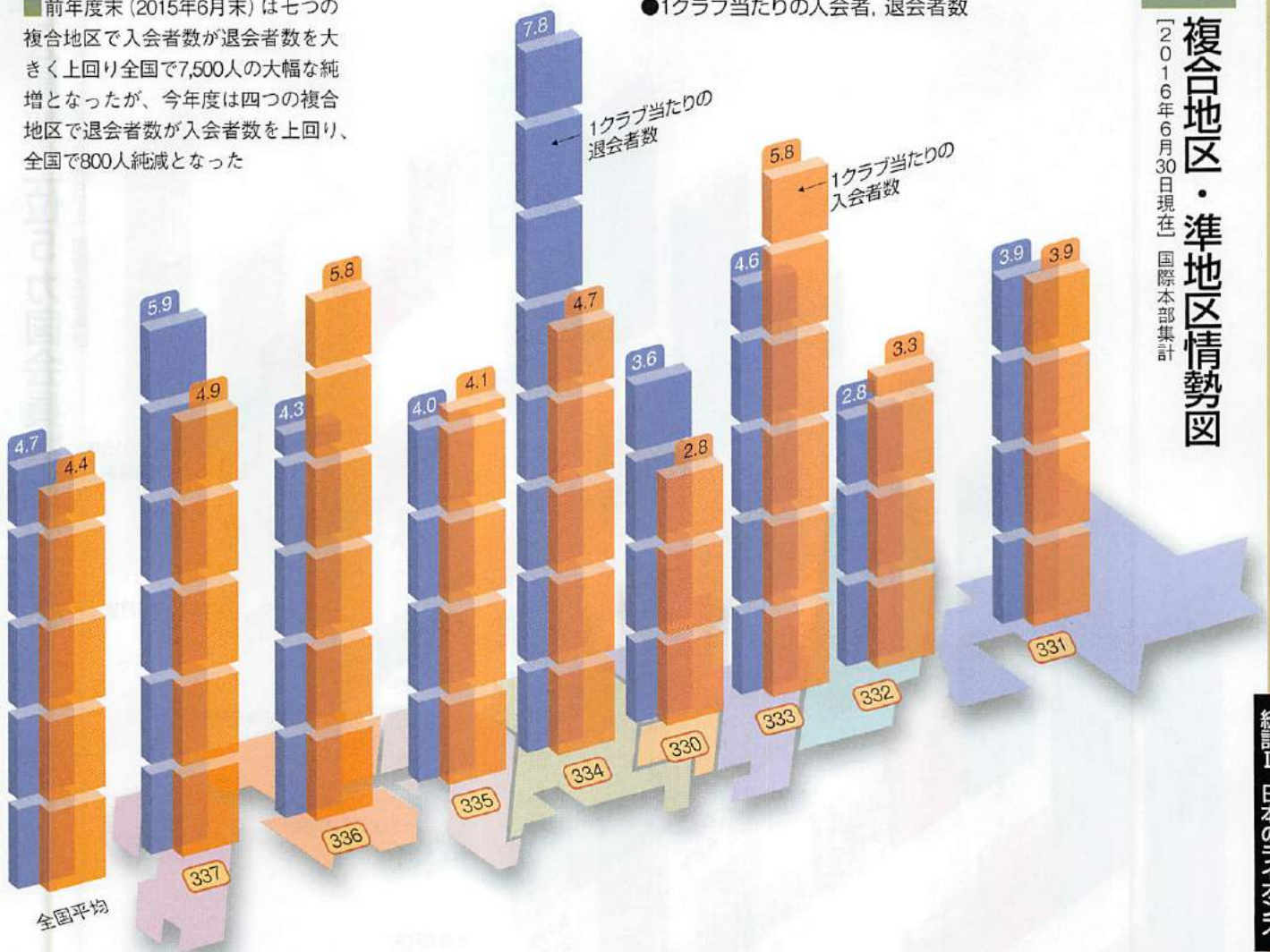
上位3カ国の顔ぶれはアメリカ、インド、日本で変わらないが、99年6月末にインドが日本を抜いて第2位に上昇し、それ以後も順調に会員数を伸ばして、トップのアメリカとの差を縮めている。

90年代後半からは、それまで上位に入っていたカナダとブラジルに代わって、韓国とヨーロッパのイタリア、ドイツが上位に浮上してきた。韓国は92年6月末に第4位に上がり、以後も増加を続けている。ヨーロッパでは、イタリアが減少を続ける一方、ドイツは着実に増加。93年に上位10カ国入りして以降、年度末で純減となった年度は一度もなく、この間毎年600〜千人の純増を続けて、安定した成長を遂げている。

80年には全体の44%を占めていたアメリカは、この35年間で20ポイント減少した。

■前年度末(2015年6月末)は七つの複合地区で入会者数が退会者数を大きく上回り全国で7,500人の大幅な純増となったが、今年度は四つの複合地区で退会者数が入会者数を上回り、全国で800人純減となった

●1クラブ当たりの入会者, 退会者数



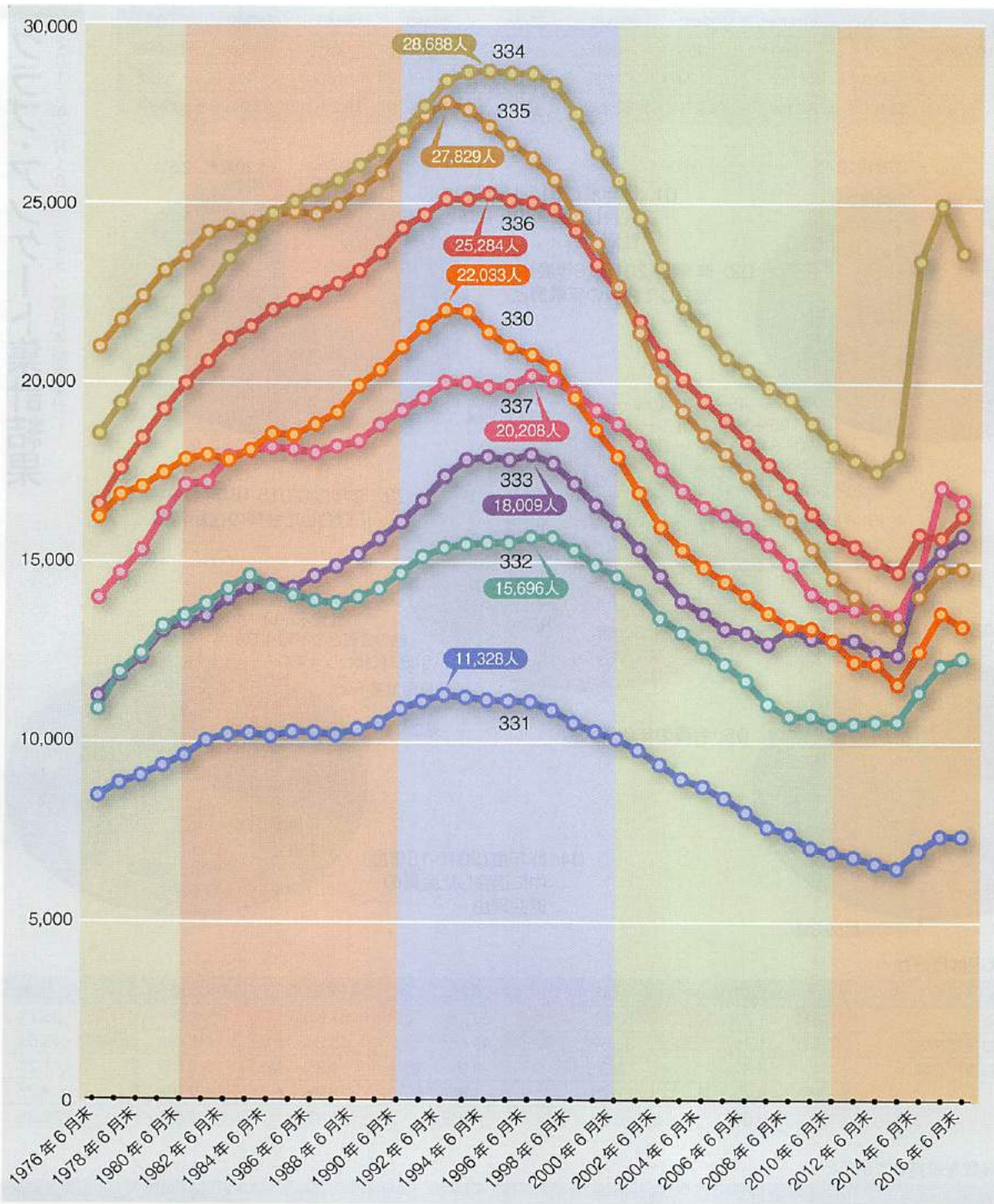
複合地区・準地区情勢図
「2016年6月30日現在」国際本部集計

統計Ⅱ 日本のライオンズ

地区	クラブ数	クラブ純増減	会員数	新入	退会	会員純増減	平均会員数	地区	クラブ数	クラブ純増減	会員数	新入	退会	会員純増減	平均会員数
330-A	200	-3	6,403	757	779	-22	32.0	334-A	120	1	6,887	672	831	-159	57.4
330-B	166	0	4,499	322	592	-270	27.1	334-B	78	-3	4,770	378	997	-619	61.2
330-C	85	-3	2,351	179	261	-82	27.7	334-C	80	0	3,481	265	561	-296	43.5
小計	451	-6	13,253	1,258	1,632	-374	29.4	334-D	97	-2	5,805	366	740	-374	59.8
331-A	73	-1	2,734	282	318	-36	37.5	334-E	52	0	2,686	326	215	111	51.7
331-B	85	0	2,742	308	245	63	32.3	小計	427	-4	23,629	2,007	3,344	-1,337	55.3
331-C	51	-2	1,922	215	246	-31	37.7	335-A	81	-3	2,141	258	273	-15	26.4
小計	209	-3	7,398	805	809	-4	35.4	335-B	170	0	6,617	862	790	72	38.9
332-A	64	0	2,123	211	169	42	33.2	335-C	119	-1	4,049	396	466	-70	34.0
332-B	53	0	2,416	222	221	1	45.6	335-D	64	-1	2,043	269	224	45	31.9
332-C	68	0	1,889	203	134	69	27.8	小計	434	-5	14,850	1,785	1,753	32	34.2
332-D	72	-1	2,490	253	175	78	34.6	336-A	146	-2	6,105	750	836	-86	41.8
332-E	56	0	2,034	168	157	11	36.3	336-B	95	0	3,392	555	281	274	35.7
332-F	45	0	1,401	141	140	1	31.1	336-C	96	-1	3,439	677	416	261	35.8
小計	358	-1	12,353	1,198	996	202	34.5	336-D	94	-2	3,391	504	337	167	36.1
333-A	74	-1	3,228	358	438	-80	43.6	小計	431	-5	16,327	2,486	1,870	616	37.9
333-B	49	-2	1,742	397	218	179	35.6	337-A	116	0	5,487	702	923	-221	47.3
333-C	133	0	3,539	343	584	-241	26.6	337-B	69	0	2,893	297	393	-96	41.9
333-D	54	1	2,446	309	189	120	45.3	337-C	82	0	4,233	441	550	-109	51.6
333-E	80	1	4,821	856	382	474	60.3	337-D	78	-1	2,351	280	350	-70	30.1
小計	390	-1	15,776	2,263	1,811	452	40.5	337-E	57	1	1,766	258	155	103	31.0
								小計	402	0	16,730	1,978	2,371	-393	41.6
								合計	3,102	-25	120,316	13,780	14,586	-806	38.8

過去40年間の複合地区別会員数推移
〔2016年6月30現在〕国際本部集計

統計Ⅱ 日本のライオンズ

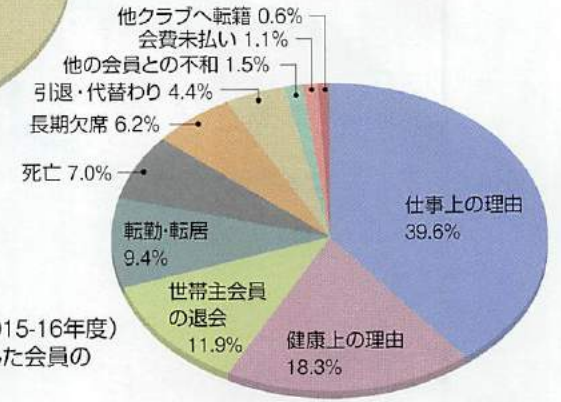
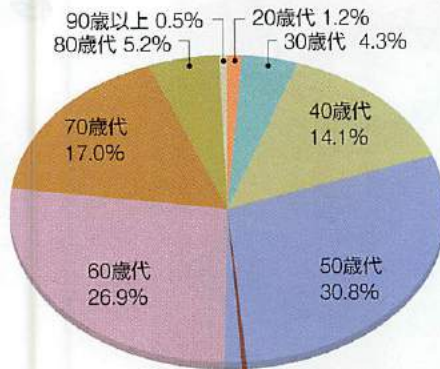
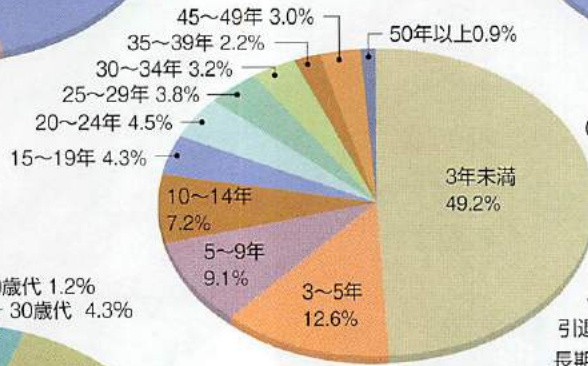
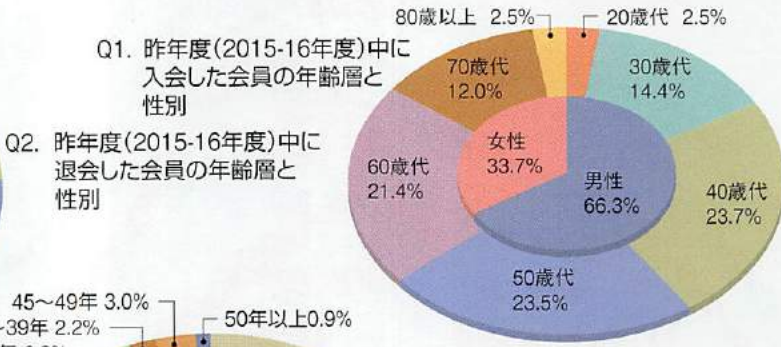
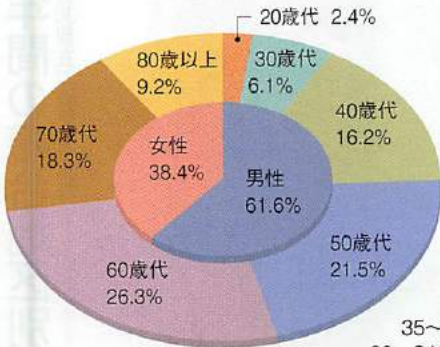


日本の会員数は1975年に11万人に達した。その翌年、今から40年前の76年7月から、それまで二つだった複合地区が330と337の八つに分割された。現在の八複合地区の編成になった1976・77年度の年度末から、現在までの各複合地区の会員数の推移をグラフにした。

グラフでは八複合地区がほぼ同じカーブを描いているものの、会員数の変動幅を示す山の高さにはかなりの違いが見られる。

日本全体の年度末会員数のピークは92年6月末の16万7588人で、各複合地区はそれと前後してピークを迎えている。その後はいずれも下降を続けていたが、2013・14年度に日本を対象にした家族会員パイロット・プログラムがスタートし、家族会員の増強に力を入れたことから、全複合地区で上昇に転じた。

	330MD	331MD	332MD	333MD	334MD	335MD	336MD	337MD	合計
全国クラブ数(2016.7.31)	451	209	356	391	427	430	431	401	3,096
回答件数	149	67	129	126	208	161	169	116	1,125
回答率	33.0%	32.1%	36.2%	32.2%	48.7%	37.4%	39.2%	28.9%	36.3%



Q6. クラブの状況は良好か

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
良好である	41.7%	53.8%	36.4%	31.8%	38.7%	35.7%
どちらかと言えば良好である	41.7%	38.5%	49.4%	45.8%	46.9%	46.6%
どちらかと言えば良好でない	8.3%	0.0%	8.0%	14.6%	9.5%	11.2%
良好でない	8.3%	7.7%	1.8%	5.9%	2.9%	4.2%
分からない	0.0%	0.0%	4.4%	1.9%	2.0%	2.3%

Q7. 適度な会員数を維持している

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	36.0%	11.5%	11.3%	13.2%	19.3%	15.2%
どちらかと言えば当てはまる	20.0%	53.9%	34.2%	29.9%	35.1%	32.8%
どちらかと言えば当てはまらない	16.0%	11.5%	33.3%	26.3%	29.0%	28.0%
当てはまらない	20.0%	23.1%	18.0%	26.8%	15.5%	21.2%
分からない	8.0%	0.0%	3.2%	3.8%	1.1%	2.8%

Q8. 会員の年齢構成のバランスが良い

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	34.6%	24.0%	15.8%	12.2%	17.5%	15.4%
どちらかと言えば当てはまる	46.2%	48.0%	39.6%	34.7%	38.9%	37.7%
どちらかと言えば当てはまらない	7.7%	20.0%	29.3%	30.4%	31.0%	29.6%
当てはまらない	0.0%	0.0%	8.6%	19.1%	10.6%	13.3%
分からない	11.5%	8.0%	6.7%	3.6%	2.0%	4.0%

Q6～Q15は、クラブ結成からの年数別に集計してみた。適度な会員数維持(Q7)や年齢構成のバランス(Q8)では、結成年数が浅いクラブの方が良好で、これらを維持し続けるのが簡単ではないことがう

かがえる。同好会などの会員間交流は年数を重ねたクラブの方が活発だが、その一方、他クラブとの交流では大きな差はなく、通信技術の進歩も一因か。

Q9. 結束力が強い

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	36.0%	30.8%	36.9%	32.5%	33.1%	33.6%
どちらかと言えば当てはまる	48.0%	57.7%	54.1%	55.4%	55.9%	55.2%
どちらかと言えば当てはまらない	12.0%	3.8%	3.6%	7.9%	7.5%	6.9%
当てはまらない	0.0%	7.7%	0.0%	1.1%	1.2%	1.0%
分からない	4.0%	0.0%	5.4%	3.1%	2.3%	3.3%

Q10. 透明性が高く風通しが良い

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	56.0%	28.0%	39.6%	36.9%	35.6%	37.3%
どちらかと言えば当てはまる	40.0%	56.0%	52.3%	51.6%	56.6%	53.2%
どちらかと言えば当てはまらない	0.0%	4.0%	2.7%	5.7%	4.6%	4.6%
当てはまらない	0.0%	8.0%	0.5%	1.3%	0.3%	0.9%
分からない	4.0%	4.0%	4.9%	4.5%	2.9%	4.0%

Q11. 例会など会合への出席率が高い

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	11.5%	4.0%	24.7%	20.0%	20.5%	20.5%
どちらかと言えば当てはまる	50.0%	56.0%	43.5%	49.5%	51.2%	49.0%
どちらかと言えば当てはまらない	23.1%	32.0%	26.0%	22.9%	23.4%	24.0%
当てはまらない	15.4%	8.0%	3.6%	5.9%	3.5%	4.9%
分からない	0.0%	0.0%	2.2%	1.7%	1.4%	1.6%

Q12. アクティビティが活発である

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	33.3%	30.8%	32.7%	25.1%	29.1%	28.2%
どちらかと言えば当てはまる	37.6%	53.8%	49.8%	48.1%	51.5%	49.4%
どちらかと言えば当てはまらない	20.8%	7.7%	10.8%	18.7%	14.2%	15.5%
当てはまらない	8.3%	7.7%	2.7%	3.8%	2.6%	3.4%
分からない	0.0%	0.0%	4.0%	4.3%	2.6%	3.5%

Q13. 同好会など会員間交流が活発である

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	7.7%	15.4%	14.4%	18.7%	22.1%	18.6%
どちらかと言えば当てはまる	34.6%	38.5%	48.2%	46.5%	50.3%	47.6%
どちらかと言えば当てはまらない	23.1%	23.1%	24.3%	20.8%	18.1%	20.8%
当てはまらない	26.9%	19.2%	6.8%	9.6%	7.5%	9.0%
分からない	7.7%	3.8%	6.3%	4.4%	2.0%	4.0%

Q14. 家族ぐるみの交流が活発である

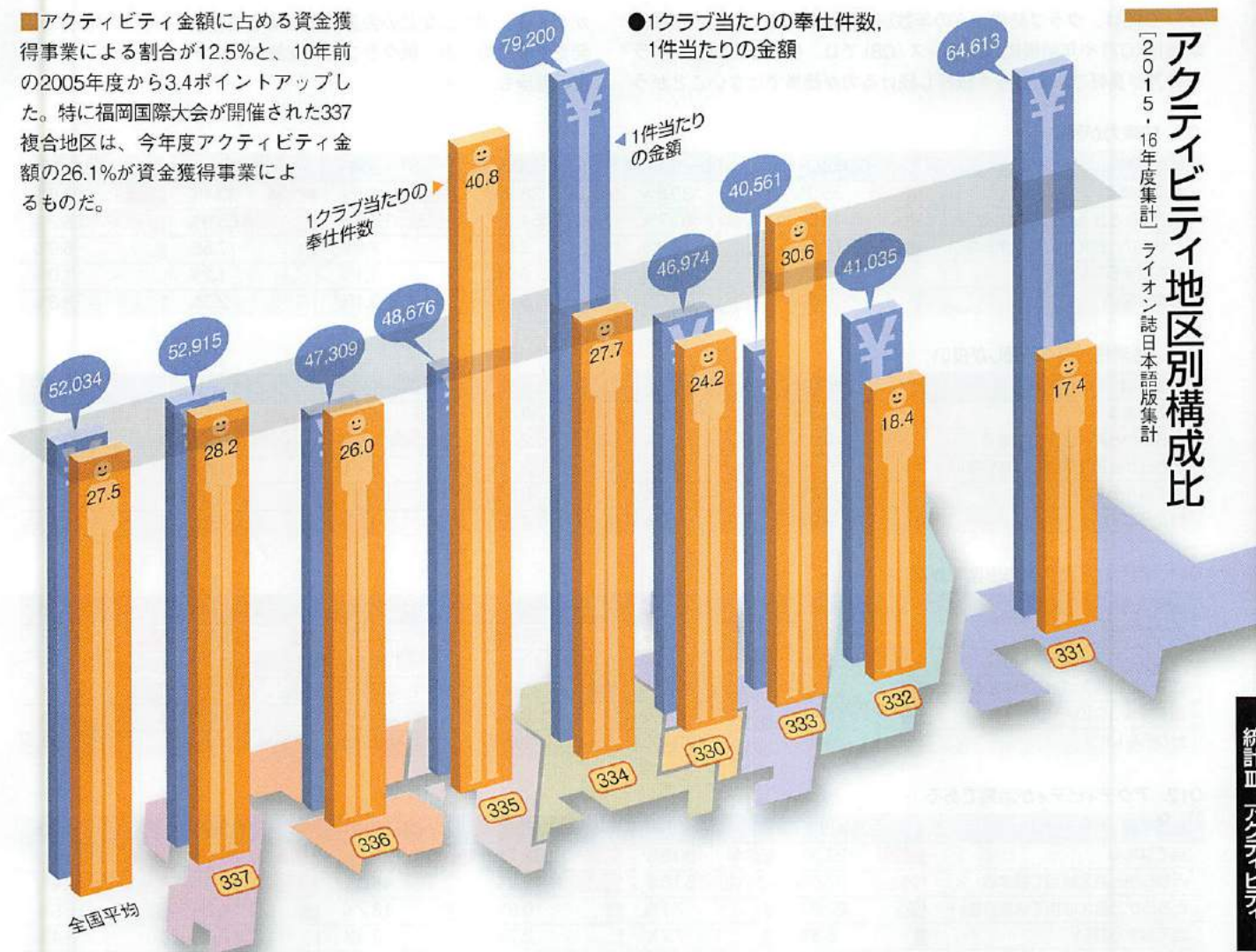
結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	7.7%	0.0%	7.2%	7.6%	11.8%	8.7%
どちらかと言えば当てはまる	42.3%	24.0%	33.5%	36.8%	41.1%	37.3%
どちらかと言えば当てはまらない	26.9%	24.0%	36.7%	34.5%	29.0%	32.8%
当てはまらない	15.4%	44.0%	14.0%	11.6%	10.3%	12.5%
分からない	7.7%	8.0%	8.6%	9.5%	7.8%	8.7%

Q15. 他クラブとの交流が活発である

結成年数	05年以下	06～10年	11～30年	31～50年	51年以上	合計
当てはまる	11.5%	11.5%	12.9%	11.2%	16.9%	13.4%
どちらかと言えば当てはまる	57.8%	50.1%	49.6%	55.0%	54.5%	53.6%
どちらかと言えば当てはまらない	23.1%	23.1%	27.2%	23.7%	20.6%	23.4%
当てはまらない	3.8%	11.5%	4.5%	3.4%	4.6%	4.2%
分からない	3.8%	3.8%	5.8%	6.7%	3.4%	5.4%

■ アクティビティ金額に占める資金獲得事業による割合が12.5%と、10年前の2005年度から3.4ポイントアップした。特に福岡国際大会が開催された337複合地区は、今年度アクティビティ金額の26.1%が資金獲得事業によるものだ。

● 1クラブ当たりの奉仕件数、1件当たりの金額



「2015・16年度集計」ライオン誌日本語版集計
アクティビティ地区別構成比

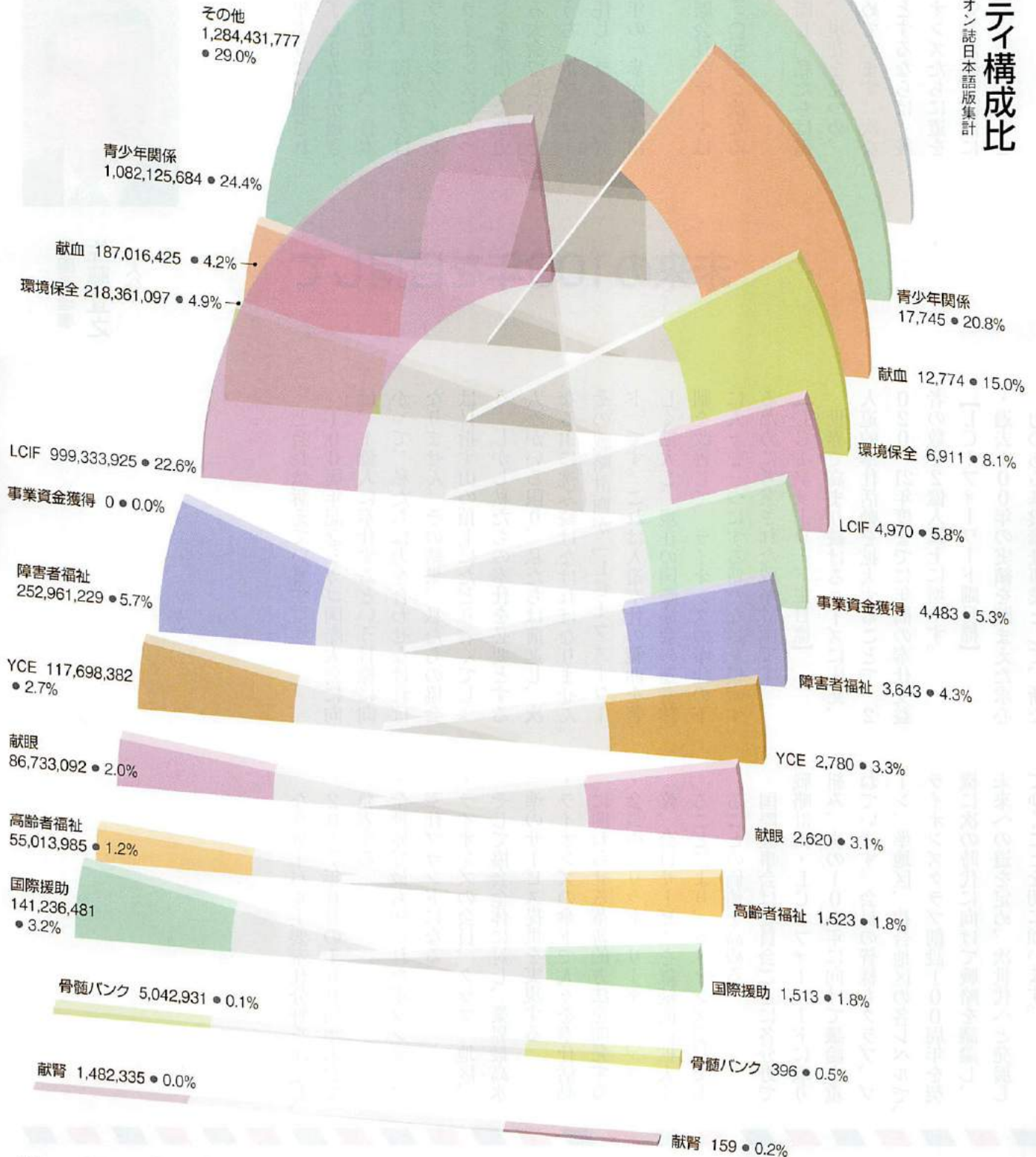
統計Ⅲ アクティビティ

地区	件数	1クラブ 当たり件数	アクティビティ 金額合計	1件 当たり金額	資金獲得 金額	地区	件数	1クラブ 当たり件数	アクティビティ 金額合計	1件 当たり金額	資金獲得 金額
330-A	4,261	21.3	234,835,272	55,113	44,904,695	334-A	2,997	25.0	383,789,906	128,058	10,627,892
330-B	4,497	27.1	203,853,948	45,331	46,266,307	334-B	2,649	34.0	159,002,069	60,023	5,894,609
330-C	2,145	25.2	73,465,961	34,250	25,015,112	334-C	1,824	22.8	132,502,615	72,644	7,136,570
小計	10,903	24.2	512,155,181	46,974	116,186,114	334-D	2,776	28.6	156,004,630	56,198	4,483,794
331-A	1,526	20.9	117,120,818	76,750	15,812,304	334-E	1,584	30.5	105,638,198	66,691	9,317,622
331-B	990	11.6	58,858,954	59,453	4,667,115	小計	11,830	27.7	936,937,418	79,200	37,460,487
331-C	1,123	22.0	59,147,242	52,669	2,187,855	335-A	2,709	33.4	123,800,772	45,700	32,938,741
小計	3,639	17.4	235,127,014	64,613	22,667,274	335-B	7,519	44.2	382,655,447	50,892	29,907,442
332-A	1,297	20.3	35,875,748	27,661	7,270,375	335-C	5,802	48.8	265,657,501	45,787	9,374,213
332-B	1,001	18.9	44,535,755	44,491	2,055,560	335-D	1,683	26.3	90,082,203	53,525	2,548,333
332-C	945	13.9	59,848,043	63,331	2,476,883	小計	17,713	40.8	862,195,923	48,676	74,768,729
332-D	1,330	18.5	64,166,519	48,246	1,464,878	336-A	4,248	29.1	186,600,036	43,927	22,192,946
332-E	1,502	26.8	48,329,192	32,177	4,290,385	336-B	1,770	18.6	103,251,494	58,334	8,860,886
332-F	515	11.4	17,666,585	34,304	764,114	336-C	2,623	27.3	129,520,010	49,379	14,981,771
小計	6,590	18.4	270,421,842	41,035	18,322,195	336-D	2,556	27.2	110,344,751	43,171	14,423,008
333-A	2,318	31.3	99,133,114	42,767	4,665,047	小計	11,197	26.0	529,716,291	47,309	60,458,611
333-B	1,003	20.5	57,239,650	57,068	6,577,843	337-A	4,674	40.3	264,050,342	56,493	103,985,621
333-C	4,160	31.3	166,567,444	40,040	31,855,832	337-B	1,999	29.0	68,328,921	34,182	22,941,112
333-D	1,543	28.6	56,513,739	36,626	7,716,622	337-C	1,874	22.9	115,724,278	61,753	21,206,465
333-E	2,929	36.6	105,375,461	35,977	14,849,118	337-D	1,527	19.8	79,699,051	52,193	2,848,076
小計	11,953	30.6	484,829,408	40,561	65,664,462	337-E	1,266	21.8	72,251,674	57,071	5,445,524
						小計	11,340	28.2	600,054,266	52,915	156,426,798
						合計	85,165	27.5	4,431,437,343	52,034	551,954,670

■10年前と比較するとアクティビティ金額は17億円、27.8%減少した。継続して活動が活発な青少年関係、献血は減少率が低かった。LCIFは-28.0%だったが、2005年度はCSFIIがスタートし、前年度の倍の献金があったことを考慮すると、15年度は大健闘と言える。

●項目別金額金額合計
4,431,437,343円

●項目別件数件数合計
85,165件
その他 25,648 ● 30.0%





■国際理事
佐藤宜之
(大分)

日本で4回目、14年ぶりに開催された福岡国際大会が終了し3カ月が過ぎました。登録者数約3万8千人、日本からの登録約2万5千人、海外からは1万3千人。多くのライオンズ・メンバーを迎え、日本のライオンズにとって35年ぶりの国際会長を輩出した歴史的な1年を締めくくる大会でした。その余韻も冷めやらぬうち、ボブ・コリーユ国際会長が就任し、ライオンズクラブ創設100周年の一步が踏み出されました。

今期コリーユ国際会長のテーマは「New Mountains to Climb (次なる山を目指して)」です。

「100年の節目に際し、私たちは過去に敬意を払いつつ、現在を見つめ、協会の未来を築き始めています。次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません」

未来の100年を目指して

と会長は訴えています。

100周年記念シカゴ国際大会に向け、1億人に奉仕するという目標に向かって、私たちは力を合わせなければなりません。その結果、私たちの協会は目指す山の頂上にたどり着くでしょう。しかし私たちの奉仕を必要とする人々がいる限り、私たちは前進し、次なる山に挑み続けなければなりません。その戦略計画が「LCIフォーワード」です。これは人道奉仕の範囲を著しく拡大し、現在の国際協会の運営体制を改善して、ライオンズの奉仕の下に人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。

【LCIフォーワード主目標】

世界で高まり続けるニーズに応え、人道的奉仕活動を拡大することで、2020・21年度までに年間の奉仕受益者の数を2億人以上に増やす。

【LCIフォーワード副目標】

・過去100年の実績を踏まえた求心力のある基盤奉仕事業として、新た

なグローバル主要奉仕分野を決定し、2017年6月の100周年大会で発表する

・全世界で最も知られたボランティア奉仕ブランドになる

・ライオンズの会員、クラブ、地区、そして協会全体に対し、業界最高水準のサービス提供を実現する

・ライオンズの傘下で人々を奉仕活動に関わらせる革新的方法を開発する
・会員のメリット、リーダーシップ研修、会員サービスを継続的に拡大することにより、ライオンズ会員であることの価値を高める

国際理事会は委員会ごとに各分野で戦略計画・LCIフォーワードに取り組み、次の100年に向けて議論を重ねています。会員の皆様もクラブ、ゾーン、準地区、複合地区の各レベルでライオンズクラブ創設100周年を契機に次の時代に向けて戦略を議論し、未来への道を定め、次世代へと発展してゆくことを切に願います。

LIIONS NEWS CASSETTE

八複合地区が推薦する2017～19 年国際理事候補者が決定

8月1日、国際理事候補者選挙管理委員会（祐川和人委員長）の第1回会議が開催され、日本の2017～19年国際理事候補者として佐藤義雄元地区ガバナー（33複合地区／長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ）を推薦することを決定した。来年のシカゴ国際大会で東洋・東南アジア（OSEAL）地域から選出される2017～19年国際理事の定数は4人。国際理事の地域別の割り当て数は、2015年ホルル国際大会における国際会則改正で変更になり、OSEALは17年以降の奇数年の大会から1人増員されて4人となる。会議では、OSEAL内のローテーション合意により17～19年国際理事に日

本、韓国、フィリピンから各1人の立候補を申し合わせていること（増員分は未定）、更に6月の現・次期議長引き継ぎ会議で日本の国際理事は33複合地区から立候補すると申し合わされていることを確認。国際理事立候補者推薦手続規則にのっとり、7月31日締切までに推薦要望書の提出があった佐藤元地区ガバナーが有資格者であることを確認した上で推薦を決めた。

第55回 OSEAL フォーラムは香港 で開催

第55回東洋・東南アジア（OSEAL）フォーラムは11月10～13日、香港で開催される。主会場はアジア・ワールド・エキスポ（AWE）、本部ホテルはリーガル・エアポート・ホテル。主な日程は次の通り（8月末現在・組織委員会発表）。会場の記載がない行事はAWEで開催。

■ 11月10日（木） 10時～18時・登録

10時～19時・バザー及び展示

■ 11月11日（金） 9時～19時・登録

9時～19時・バザー及び展示

11時15分～12時30分・LCIFセミナー

12時30分～14時30分・インターナショナル・ショー

14時30分～16時30分・開会式

17時～21時30分・100周年カーニバル（会場未定）

■ 11月12日（土） 9～19時・登録

9時～19時・バザー及び展示

9時～10時・レオ・セミナー

10時～15時・レディース・プログラム



11時25分～12時25分・日本語セミナー（スカイシティ・マリオット・ホテル）

13時～14時30分・国際会長テーマ・セミナー

14時30分～16時・100周年セミナー

17時～18時・ジャパン・ナイト

19時30分～22時30分・国際会長歓迎晩餐会

（リーガル・エアポート・ホテル）

■ 11月13日（日） 9時～19時・バザー及び展示

10時20分～12時20分・閉会式

公式ウェブサイト：oseal2016.org

2015・16年度下半期のLCIF 対日交付金

2015・16年度下半期(16年1～6月)に承認された日本に対するLCIF交付金は以下の通り(承認順)。

- ▼334・E地区Ⅱフィリピンへの歯科医療ミッション1万ドル(国際援助交付金) ▼336・D地区Ⅱアイバンクの備品1万1800ドル(一般援助交付金) ▼334・B地区Ⅱラオスの学校拡張1万ドル(用途指定交付金) ▼335・A地区Ⅱ障害者用輸送車両購入1万5000ドル(一般援助交付金) ▼335・C地区Ⅱフィリピンの井戸整備5445ドル(国際援助交付金) ▼337複合地区Ⅱ熊本地震災援25万ドル(大災害援助金) ▼333・D地区Ⅱ群馬大学医学部付属病院に備品3万3628ドル(一般援助交付金) ▼332・A地区Ⅱ障害者用輸送車両購入1万9275ドル(一般援助交付金) ▼330・B地区Ⅱベトナムの診療所改修及び拡張3万975ドル(一般援助交付金)

会議録

- 第1回ライオン誌日本語版委員会(7月28日) ①2015・16年度ライオン誌日本語版「決算報告」②2015・16年度ライオン誌日本語版「監査報告」③2016年8月号(7月20日見本/9万4200部発行) 出来④2015・16年度ライオン誌日本語版ベスト・エッセー賞選考⑤ライオン誌日本語版関連銀行口座の閉鎖⑥2016・17年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出⑦「ライオン誌日本語

版委員会方針」の承認⑧事務所統合委員会⑨2016・17年度ライオン誌日本語版予算⑩9月号記事内容の確認⑪10月号以降台割(案)と主要記事予定⑫ライオン誌デジタル化⑬eMMR Service⑭その他

■臨時複合地区ガバナー協議会議長連絡会議(8月1日) ①コーディネーター国際会長公式訪問(9月)開催案について②第55回OSEALFオーラム(11月10日～13日香港)の件③2017年第100回シカゴ国際大会について④講師育成研究会(2016年11月15日～18日香港)の参加者推薦について⑤その他

■第1回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議(8月1日) ①委員長の互選②国際理事立候補者推薦手続規則の確認③2017・19年度国際理事選出の確認④推薦要望を提出した国際理事候補者⑤推薦要望書の内容確認と審議⑥決定に伴う事務処理

■第1回複合地区国際大会委員長連絡会議(8月2日) ①世話人、副世話人の互選②国際大会委員長連絡会議の任部及び実務について③第99回福岡国際大会④第55回東洋・東南アジア・フオーラム(香港)⑤第100回シカゴ国際大会

新結成／解散／合併クラブ

■新結成クラブ

茨城県・水戸チアフル(市原喜美子会長/32人) ▼8月30日認証 ▼スポンサー/水戸葵

■解散クラブ

7月Ⅱ山口県・防府ゴールド(合併)

8月Ⅱ長崎県・佐世保ゆみはり

■合併クラブ(合併前のクラブ)

山口県・防府(防府/防府ゴールド)

国際大会開催予定

- 第100回Ⅱ17年6月30日～7月4日/アメリカ・イリノイ州シカゴ
- 第101回Ⅱ18年6月29日～7月3日/アメリカ・ネバダ州ラスベガス
- 第102回Ⅱ19年7月5日～9日/イタリア・ミラノ
- 第103回Ⅱ20年6月26日～30日/シンガポール
- 第104回Ⅱ21年6月25日～29日/カナダ・モントリオール





ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

眼鏡リサイクル

世

保健機関(WHO)の推定では、1億5千万人を超える人が近視や遠視などの屈折異常が矯正されないために、視界のぼんやりした状態で暮らしています。多くの場合、眼鏡によって焦点を合わせることが出来ますが、発展途上国では多くの人々が基本的ケアにアクセス出来ないために必要な処置を受けられずにいます。中には眼鏡の値段が1カ月の賃金に相当するような国もあります。

しかし、世界中のライオンズと眼鏡リサイクル・プログラムによって、数百万人が眼鏡を手に入れ、はっきりと物が見えるようになりました。

ライオンズはこのプログラムを通して眼鏡とサングラスを集めています。収集箱は、地域の図書館、病院、学校、歩道、銀行、小売店などに置かれます。集まった眼鏡は最寄りのライオンズ眼鏡リサイクル・センターに送られ、ボランティアがそれらを選別・洗浄して処方強度を確認します。修理調整された眼鏡は丁寧に梱包され、主に発展途上国の眼鏡を必要とする人々の手に届けるまで保管されます。

ライオンズと眼科医療専門家からなる視力派遣団は発展途上国を訪れ、数千人の児童や成人を検査して、無料で処方レンズとフレームを配り、生活の

質の向上をもたらします。ライオンズは、やはり眼鏡を配布している眼科医療関連の非営利組織や、検眼士養成校のグループ、宗教団体、軍支援団体にも再生眼鏡を提供しています。

ライオンズの眼鏡リサイクル活動が始まったのは1930年代のことです。



ライオンズは80年余りにわたって眼鏡を収集・選別・洗浄し、必要とする人々に配布してきた

60年代初期の例では、イギリスのヘイズとハリントンの両ライオンズクラブが2万個余りの眼鏡を集めました。それらはインドのライオンズ眼科病院に寄付され、人々に配られました。94年、ライオンズクラブはこの長い取り組みを「眼鏡リサイクル」という名の

公認プログラムにしました。プログラムは拡大を続け、より多くの人々の視力を改善させています。

ライオンズは毎年、約3千万組もの眼鏡を集めています。オーストラリアにある六つのリサイクル・センターは日本のライオンズの協力も得ながら、年間50万個の眼鏡を集めています。これらのセンターからは過去10年にわたって、350万個余りの眼鏡がインド、中東、インドネシアなどに送られています。一部のセンターでは地元の刑務所の受刑者を参加させることにより、出所後に役立てられるスキルを教える社会復帰を促しています。

ホンジュラスでは、94歳の男性がライオンズの再生眼鏡を受け取って喜びの声を上げました。

「ありがとう！これで15年ぶりに、聖書を読むことが出来るよ」

中古眼鏡を寄付する人々、それを集めてライオンズ眼鏡リサイクル・センターに送るクラブ、処理して発送するボランティア、派遣団を組織・参加して配布するボランティアなど、再生眼鏡の収集・処理・配布には多くの人が関わっています。そのすばらしい成果は、こうした視力の贈り物を受けた人々の生活の質が向上していることに表れているのです。

アフリカの地で花開く、 イタリアのホスピタリティ

世

界では、およそ8億人の人々が十分な食事を取れない

生活を送っている。発展途上国での状況は更に深刻で、6人に一人の割合で子どもの低体重が報告されている。イタリアのヴェネチア・ホスト、

ヴェネチア・アンジェロ・パルテチパツィオ両ライオンズクラブは西アフリカに位置するブルキナファソのクドゥグ・バオバブライオンズクラブとLCIFと協力し、西アフリカ諸国の食料不足問題解決に乗り出した。

この活動に対し、LCIFからは国際援助交付金（IAG）5万4267ドルが交付さ

れた。活動の主な目的は二つ。

一つは、農村地域の女性を対象に、点滴灌漑かんがいを利用した農業指導を行うこと。もう一つは、その灌漑システムを利用した野菜農園を村に作ることである。近隣地域から集まった女性たちは、作物の新しい栽培方法を学び、収穫した野菜で健康的な食事を作り、家族に提供することが出来るようになる。また、貯水塔や堆肥置き場、貯蔵庫、フェンスなど農園設備の充実も重要な鍵となる。

点滴灌漑とは、チューブなどを置いて少量の水をゆっくり植物に給水する灌漑システムで、常に植物の根を湿らせ

ておくことが出来る。周りの土壌ではなく根に直接水を与えることで、通常の方法より少ない水で作物を栽培出来ることから、特に乾いた、水源の乏しい土地に向けた栽培方法である。

ライオンズはまず2・5畧の土地を確保して、整備を実施。次にソーラーポンプを利用して井戸を掘り、野菜貯蔵庫を建設し、タマネギやその他の野菜、成長の速いワサビノキを植えた。その後は、イタリア、ブルキナファソ両国のライオンズが現地に赴いて直接農業指導を行い、現地の女性たちに野菜の育て方を教えた。

ンズの大きな希望である。

「我々は貧困と戦うために、栄養失調がはびこるブルキナファソで農村地域の女性や子どもに食料を確保する活動を続けていきます。この農園が地域の子どもの家族の健康状態や生活の改善に大いに役立つことを期待しています」

イタリア・ライオンズ協会のダジヨヴァンニ・スパリヴェイエロはこのように話す。

LCIFのIAGには活動内容によって5千ドルから3万ドルの交付金が拠出される。先進国のライオンズクラブと開発途上国のライオンズクラブが協力して行うプロジェクトは、途上国の生活向上に大いに貢献している。活動内容は主に、基礎的な医療や読み書きなどの教育の提供、浄水施設や衛生環境の整備、農業支援と自給率の向上、視覚障害など障害者のためのサービスの提供、環境保護など多岐にわたる。

IAGプログラムの申請方法については、詳しくはウェブサイトを参照（icif.org）。

（カサンドラ・ロトロ）



ブルキナファソのキョン地区に新しく作られた農園で野菜の世話をする女性たち

試験的に行われた農業指導には、キョン地区から7人の女性が参加した。最終的には1年で60人の参加者が見込まれる。十分な食料が栽培された暁には、生産者が自ら市場を開き野菜を売って利益を得ることが出来る。経済的な安定と自立を生み出すことが、ライオ

国際社会に対する奉仕を全会員参加で！

本

年度、LCIF理事長
に杉山田實紘が就任す
ると共に、LCIF国

際理事・幹事(OSEAL担当)

に杉栢森新治が、LCIF国際

理事(日本担当)に鈴木智男

が、LCIF東日本エリア・コ

ーディネーターに大石誠、西

日本エリア・コーディネーター

に杉榎本舜治が就任し、新しい

体制でスタート致しました。

2017年のライオンズクラ

ブ国際協会100周年、LCI

F50周年(2018年)に向け、

会員の皆様には「全員参加」で

新たな目標に向かって、ご支

援をお願いしたいと思っていま

す。我々ライオンズクラブには、

「地域社会への奉仕」と「国際

社会」に対する奉仕活動が求め

られています。LCIFは奉仕

活動をする世界のライオンズク

ラブを支援する役割を持ってい

ます。近年、世界で頻繁に起き

る大災害、また飢餓・病気に対

する交付金申請が多く、献金額

を上回る交付金の支給が続いて

いるのが現状です。

前年度、クラブ参加率100

%の地区は30・C、35・Bの2

地区でした。70%以下は3地区、

全国平均参加率は87%で、1人

当たり献金額は、34・A地区が

283^{ドル}、最も低かった地区は

33^{ドル}、平均は91・6^{ドル}でした。

LCIF献金0のクラブを無く

すため、金額にかかわらず「1

00%献金クラブ」を目指し、

優秀なLCIF複合地区・地区

コーディネーターが、献金・交

付金事業のお手伝いをさせて頂

きますので、会員の皆様方のご

理解、ご協力をよろしくお願い

致します。

(LCIF国際委員、西日本エリ

ア・コーディネーター/榎本舜治)

LCIF献金現況報告

献金額単位：^{ドル}

2016年7月31日現在

地区	献金額	1人当たり 献金額	1人当たり 前年度献金額	MJF口数	クラブ 参加率
330-A	58,500	12.7	38	54	6.0%
330-B	47,400	11.7	118	38	15.7%
330-C	26,091	13.1	51	24	16.5%
330複合	131,991	12.4	71	116	11.5%
331-A	38,800	17.0	121	39	20.6%
331-B	23,347	10.2	56	22	17.7%
331-C	11,780	7.3	56	11	21.6%
331複合	73,927	11.9	80	72	19.6%
332-A	26,000	14.6	33	26	21.9%
332-B	17,648	11.1	70	15	20.8%
332-C	16,000	11.7	79	16	11.9%
332-D	90,000	45.4	104	90	45.8%
332-E	23,000	13.7	41	23	16.1%
332-F	7,129	6.6	59	5	6.8%
332複合	179,777	19.0	62	175	21.9%
333-A	19,600	7.5	50	18	14.9%
333-B	12,540	10.7	92	12	24.5%
333-C	49,460	16.5	78	47	18.1%
333-D	6,000	3.4	109	6	48.2%
333-E	44,160	15.2	85	42	14.8%
333複	131,760	11.5	80	125	21.7%
334-A	199,030	43.6	283	196	22.5%
334-B	64,640	21.1	89	62	34.6%
334-C	29,370	10.0	97	28	22.5%
334-D	151,832	40.1	97	155	47.4%
334-E	29,400	15.7	124	26	11.5%
334複合	474,272	29.2	150	467	29.0%
335-A	31,560	16.2	60	31	14.8%
335-B	12,089	2.4	120	12	5.3%
335-C	295,669	79.9	103	58	20.0%
335-D	33,280	19.5	120	31	20.3%
335複合	372,598	29.8	105	132	13.3%
336-A	67,900	13.4	63	56	25.2%
336-B	28,186	9.7	66	16	9.5%
336-C	81,000	26.0	62	69	33.3%
336-D	15,900	5.3	69	15	7.5%
336複合	192,986	13.7	64	156	19.7%
337-A	57,200	13.3	115	53	19.8%
337-B	22,300	10.4	60	22	14.5%
337-C	57,340	21.2	124	51	25.9%
337-D	22,910	10.4	55	19	15.6%
337-E	7,000	4.5	55	5	10.3%
337複合	166,750	12.9	90	150	18.0%
全国	1,724,061	18.5	91.6	1,393	19.4%

熊本地震被災地支援

南阿蘇に集った全国のライオンズ

8月28日、熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇村にある世界最大級の野外劇場アスペクタで、食と音楽、遊びのイベント「がんばるばい熊本!! 南阿蘇ミーティング 2016夏」が開催された。地元・高森ライオンズクラブが主催し、被災地支援活動を通じてつながった全国の有志ライオンズやボランティアがサポートのために結集した、この夏の一大イベント取材した。(取材/鈴木秀晃)



女性会員らによる温熱マッサージ



熊本県保育協議会の保育士ボランティアによる「保育土村」

南 阿蘇村を一望出来る野外劇場アスペクタに、たくさん笑顔が弾けた。高森ライオンズクラブ(中尾三郎会長/36人)が、「食」「遊」「楽」をテーマに開催したイベント「がんばるばい熊本!! 南阿蘇ミーティング2016夏」には、南阿蘇村や周辺の被災町村から多くの人が集まり、夏休み最後の日曜日を楽しんだ。

イベントには全国15道府県の30を超えるクラブからライオンたちが集結。ボランティアも含め約130人のスタッフでさまざまな企画が実施された。「食」ではフードコートに、鶏肉とナスのグリーンカレー(チーム青森)、焼き鳥と焼きトウモロコシ(チーム鯖江)、たこ焼き、お好み焼き、焼きそば、ベーグル(チーム明石)、たけのこご飯(チーム楠)、だこ汁(チーム武雄)など、約1万5千食が振る舞われ、途切れること



九州八十八カ所百八霊場会による熊本復興祈願祭



337E地区の支援により、会場と仮設団地や避難所などの間を運行した7台のシャトルバスが来場者増に結び付いた



終日、大きなにぎわいを見せたフードコート



仮設住宅への引っ越し準備で来場出来ない被災者や、その手伝いをするボランティアのために弁当を作りデリバリーも行った



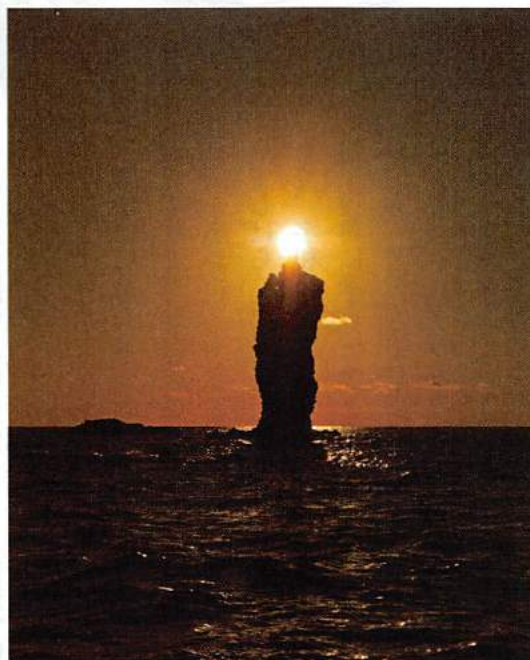
のない行列が出来ていた。「遊」のキッズコーナーには、ふわふわ遊具やヨーヨー釣りの他、熊本県保育協議会の保育士ボランティアが「保育士村」を開設し、小さな子どもたちにさまざまな遊びを体験してもらった。この日は、335・A、B、D各地区の女性会員を中心とした温熱マッサージ隊も活動していたが、お年寄りだけではなく子どももマッサージを受け身体をほぐしていた。コリの原因はストレスにあるようで、今更ながら心のケアの重要性が認識されることになった。「楽」のステージには、南阿蘇と高森の中高生による吹奏楽、ご当地アイドルやキッズダンスチーム、ライオンズ有志によるバンド演奏などが行われた。また、九州八十八カ所百八霊場会による熊本復興祈願も執り行われ、来場者たちもこの時は静かに法要を見守っていた。

このイベントのコンセプトは「集う」。熊本支援という共通目的を持った会員たちが、被災した方たちに寄り添うために集い、思いを「元氣玉」としてぶつけ合うことで、復興につなげようと企画された。集うことから始め、更にそれが輪となり広がれば、とてつもない大きな力となることを実感させるイベントだった。

表紙の背景

ローソク島

島根県隠岐の島町



ローソク島は、隠岐諸島の一つ島後（隠岐の島町）の沖合に浮かぶ小さな無人島。海から約20mの高さでそびえ立つ奇岩が特徴的で、ろうそくのようなその細長い岩の形状が島名の由来となっている。日本海に沈む夕日が岩の先端に重なった時、ちょうどろうそくに灯がともっているように見え、隠岐観光の人気スポットとなっている。ローソク島観光には4月から10月の期間限定で遊覧船が就航しており、船上からしか見ることの出来ない感動の瞬間に臨める。

隠岐諸島は島根半島の北約50kmにあり、島後・島前に分かれています。島後は1島だけだが、島前は中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）、知夫里島（知夫村）の「島前三島」で構成される。更に、この主要4島の他に約180もの小島が周囲の海に点在。1963年に大山隠岐国立公園となり、2013年9月9日には世界ジオパークに認定されている。

隠岐と言えば、流刑の地として、後鳥羽上皇や後醍醐天皇、また歌人の小野篁らが島流しにされたことで知られる。一方、隠岐側から見ると、こうした名だたる高貴な人たちを迎え入れてきたわけで、彼らによって都の文化がもたらされたであろうことは想像に難くない。そうした歴史の中、離島ということもあいまって、有名な牛突きや古典相撲など、隠岐独特の文化がつかわれてきたのではないだろうか。

※島後に隠岐世界ジオパーク空港があり、島根の出雲縁結び空港から約30分、大阪の伊丹空港からは約1時間。また鳥取県の境港と島根県松江市の七類港から隠岐の各港まで、高速船で約1時間、フェリーで約2時間半となっている。



九州八十八カ所百八霊場会による熊本復興祈願祭



337E地区の支援により、会場と仮設団地や避難所などの間を運行した7台のシャトルバスが来場者増に結び付いた



終日、大きなにぎわいを見せたフードコート



仮設住宅への引っ越し準備で来場出来ない被災者や、その手伝いをするボランティアのために弁当を作りデリバリーも行った



のない行列が出来ていた。「遊」のキッズコーナーには、ふわふわ遊具やヨーヨー釣りの他、熊本県保育協議会の保育士ボランティアが「保育士村」を開設し、小さな子どもたちにさまざまな遊びを体験してもらった。この日は、335・A、B、D各地区の女性会員を中心とした温熱マッサージ隊も活動していたが、お年寄りだけではなく子どももマッサージを受け身体をほぐしていた。コリの原因はストレスにあるようで、今更ながら心のケアの重要性が認識されることになった。

「楽」のステージには、南阿蘇と高森の中高生による吹奏楽、ご当地アイドルやキッズダンスチーム、ライオンズ有志によるバンド演奏などが行われた。また、九州八十八カ所百八霊場会による熊本復興祈願も執り行われ、来場者たちもこの時は静かに法要を見守っていた。

このイベントのコンセプトは「集う」。熊本支援という共通目的を持った会員たちが、被災した方たちに寄り添うために集い、思いを「元気玉」としてぶつけ合うことで、復興につなげようと企画された。集うことから始め、更にそれが輪となり広がれば、とてつもない大きな力となることを実感させるイベントだった。

獅子吼

献血ピンチに思い念ず

只井保（大阪天神橋）

「献血ピンチ深刻に」

過日、新聞に大見出しでこう掲載されたのを見て、驚きと空しさを感じました。

30年前、私たち大阪天神橋ライオンズクラブは、大阪駅前第一ビルの献血ルーム周辺で献血奉仕活動を始めました。繰り返し献血なさる方を始め若い方々がとても多く、率先して協力を申し出てくださる人がたくさんいらして、一日中献血ルームがにぎわったことを記憶しております。

当時の日本経済は列島改造ブームで、高度経済成長期の真っただ中。あらゆる事業が右肩上がりの時代でした。あれから30年間の移り変わりの中で、経済、そして献血も大きく変化しました。「献血ピンチ」に歯止めを掛けるために、ぜひ企業、団体が協力されることを望みます。

さて、日本赤十字社の推計によりますと、2015年以降、手術や治療に必要な血液が不足する恐れがあるとの

こと。血液の必要量がピークを迎える2027年には、献血者は最大85万人不足する見通しで、その後も不足数は拡大する見通しだそうです。

血液不足の要因の一つは、手術時に必要な輸血用血液製剤の8割以上を50歳以上が使っており、その年齢層が多くなる27年まで血液の需要が年々増加するからです。その後も高齢化が進み、需要の水準は高いままとなる模様です。

二つ目は、主に若年者の献血率の低さがあります。献血が可能となる16歳から19歳までの若者が献血をした割合は、00年度の10・2%から、11年度は5・9%にまで低下しました。その後20代が7・4%、30代が6・9%と低迷しています。献血したことのない10〜20代の若者を対象に国が行った調査によると、「献血が治療に役立っていることを半数以上が知らない」「針を刺すのが痛くて嫌」「何となく不安」などがその理由に挙がりました。

厚生労働省は平成2年度から、献血を理解するための高校生向けテキスト「けんけつHOP STEP JUMP」を全国の高校に配布。平成17年度からは、これから献血出来る年齢になる中学生向けに献血全般の知識の普及を目的にポスターを配布するなどしています。国・地方公共団体及び日赤では、小・中学生の段階から献血に関する知識を得てもらおうと、普及・啓発を目的とした「キッズ献血（模擬体験を通して献血の様子や流れを理解してもらおうもので、実際に針を刺すことはない）」を実施したり、さまざまな資料を配布したりしています。より多くの青少年に、献血の意義と向き合ってもらいたいものです。

私が考える重点的に促進すべき取り組みをここに列挙します。

- 1 献血の普及啓発促進
- 2 若年層対策の強化
- 3 安心安全で心の充足感が得られる環境づくり

現在、1年間に全国で516万人の方から血液を頂いております。献血から生まれる愛の贈り物が、尊い命を救います。

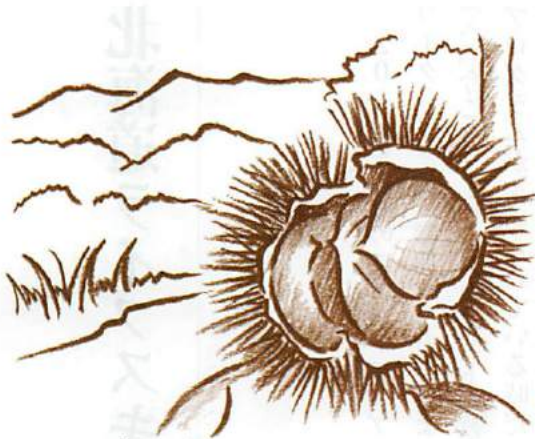
ライオンズクラブ会員相互の理解・一体感がより深まり、献血活動が更なる発展隆盛の礎となることを願ってやみません。（93年度会長／83年人会／85歳）

●獅子吼(ししく)

- ①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
- ②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

●投稿要領:

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度



イラスト/小川和政

2020年東京パラリンピックを 目指して、共に走ろう！

岡島 俊郎(福岡イースト)

福岡市東区に、2020年パラリンピックを目指してがんばるマラソン・ランナーがいる。山下慎治さん(33歳)。彼は成長するにつれて視野がだんだん狭くなる両網膜色素変性症という難病にかかり、現在の視野は健常者の5%にも満たない。5円玉の穴から外を見る感じなのだ。それでも毎日一生懸命に走り続ける。

元来、小学校から中学校、更に高校

にかけてラグビーに熱中した根っからの運動少年だった。幼少期から目に違和感があったが、それほど気に掛けていなかったという。急激に異常を感じるようになったのは高校生の頃だ。そして医者が下した診断が、両網膜色素変性症だったのである。

就職はしたものの満足に仕事も出来ない彼を勇気付けたのが、マラソンだった。12年のロンドン・パラリンピックで活躍した日本人選手の姿に感動した彼は、早速福岡市内の視覚障がい者マラソンクラブに参加し、伴走者と共に大濠公園(福岡市)を走り始めた。

チャレンジ精神旺盛な彼は、早くもその2年後の14年に初めてフルマラソンに挑戦。努力のかいあって、11月に開催された福岡マラソン2014では、何と3時間を切り、2時間58分24秒で完走したのである。

マラソンを初めて1年足らずで3時間を切るとは実に驚異的である。その結果、15年4月に日本盲人マラソン協

会から日本代表の強化指定選手に選ばれ、一躍脚光を浴びることになったのである。その勇姿をたたえて15年11月4日の西日本新聞に大きく取り上げられ、12月20日開催の防府読売マラソンでは、自己最高の2時間49分04秒という快記録をたたき出した。

今、彼の目標は、4年後の20年に開催される東京パラリンピックに出場すること。そのためには何より練習が必要だが、一人で走ることには出来ない。常に伴走者と走らなければならないハンディがあるのだ。その他超えなければならぬ幾多の困難があるにもかかわらず、彼は目標に向かって毎日黙々と走り続けている。そんな彼の夢を現実させるために、我が福岡イーストライオンズでは全面的に彼を支持しようとの結論に達し、早速行動を開始することにした。しかし当クラブの支援だけでは限界があるので、今後、ゾーンを超えてライオンズの支援の輪を広げようと計画しているところである。

20年の東京パラリンピックに向けて、ライオンズクラブの皆様方にもご協力頂きたく支援を呼び掛けていくつもりだ。ぜひ山下慎治さんを応援してほしい。そして来たる4年後にはみんなで東京パラリンピックに応援に行こう。

(財務・計画・PR・インターネット委員長 / 10年入会 / 71歳)

北海道ライフスキル研究会設立の目的

石山 栄次（北海道・サッポロシニア）

2015年1月のフォローアップ・ワークショップに参加した有志によって、「今こそライオンズクエストの教育プログラムが求められている時だ！

ライオンズクエストを学び深め、北海道に広めよう！」との声上がり、同年7月に「北海道ライフスキル研究会」が設立されました。研究会としては、鹿児島に次いで全国で2番目です！

今日、少子化、価値観の多様化、子どもを育てる地域力の低下、子どもの遊びの変化……など、人との関わり方を学ぶ場や機会が失われ、人間関係が希薄になってきているようです。人と折り合いをつけながら上手に付き合い合っていく術を、学校教育で指導する時代となっています。

学校には、子ども自身が自分で判断して、より良い生活を目指し、改善出来る力（生きる力＝ライフスキル）を身に付けていく指導が求められています。子どもがライフスキルを学び、自分はやれば出来るという実感を積み上

げていくことにより、自己肯定感が高まり、人間関係も良好になり、前向きな生活を送ることが出来るのです。

ライオンズクエストは、その「生きる力」の学習を体系的にカリキュラム化した教育プログラムです。私たち北海道ライフスキル研究会のメンバーは、このプログラムを学び、それぞれの学校、職種、立場で実践しながら、更に普及に努めているところです。研究会



の主な活動としては研修会や学習会の開催、実践を通じての交流、フォローアップ・ワークショップへの参加です。

日本におけるライオンズクエストの実施組織として、LCIFから青少年育成支援フォーラム（JIYD）が指定されています。15年11月21日に札幌市立上白石小学校で第1回研修会が開かれ、このJIYDの専任講師・篠田康人先生によるライオンズクエストの公開授業が実施されました。これまでJIYDの専任講師が校内研修として同校教師を対象に模擬授業を実施したり、あるいはライオンズクエスト導入校で教師が公開授業を行った例はたくさんあったようですが、未導入校でJIYDの専任講師が授業者となり、他校の先生や保護者に案内して行われた公開授業は、全国初とのことでした。

研修会は上白石小学校の3、4年生21人を対象に、「何かをあげて大きくならう」というテーマで、「友達と上手に関わる」スキルを指導する内容でした。45分間があつという間に過ぎ、初めてライオンズクエストに触れた子どもたちからは、「また来年、来てほしい」と、要望が出ました。保護者からも「授業に活動場面があつて良い」「何より子ども一人ひとりの声が聞けて良かった」と好評でした。

保護者の方には、参加した子どもた

ちの「前向きさ」や「やる気」が見えたのです。わずか45分間の即席の「学級」でしたが、そこは「安全で安心出来る集団」に見えたのです。ここにライオンズクエストの狙いがあります。第2回研修会は、6月18日に市立札幌開成中等教育学校で開かれました。近年、せっかく就職してもすぐに辞めてしまう若者が多いと聞きます。その多くは人間関係がうまくいかないことに起因するそうです。

「人生の質はコミュニケーションの質で決まる」と言われます。「ライオンズクエスト ライフスキル教育プログラム」は、青少年のコミュニケーション力育成に有効です。北海道ライフスキル研究会が、ライオンズクラブを始め多くの皆様に支えられ、大きくなることが、北海道の青少年健全育成につながると思っています。

（北海道ライフスキル研究会会長／札幌市立上白石小学校教務主任／16年入会／57歳）

ライオンズ国際大会に参加して

乳井 宏資（秋田県・比内）

ライオンズ国際大会に出で立ちの今朝40年間沸々と湧く
キャビネット担いた比内の最終章、国際大会に颯爽と飛ぶ
骨折の杖つきながら福岡に道中助けられながら往く
小さくも比内クラブのキャビネット阿部ガバナーで世界に駆ける
身の丈に適わぬ行事の1年間皆エリート
のライオンになる
キャビネット担うようにと煽動し神輿

を担がず紐に纏まる
世界から3万8千人のライオンが集いて熱く燃え盛りたる
行進は色とりどりのユニホーム福岡の街に世界が融ける
ライオンは太り過ぎなり地球では痩せてる人が大半占める
目の前に絶世の美女立ち止まるミスユニバースと聞きて驚く
ステージは豆粒程の人物も大きな明る
いスクリーンとなる

柳川は夢にまで見た水郷で小舟に乗りてしほしを悠々
花嫁と花婿乗せた水郷で「瀬戸の花嫁」
ごときに出逢う
新郎と新婦の舟に感激し「秋田長持ち唄」で祝いぬ
柳川の「泥鰌なべ」とは云いたるを鰻
の名所になりたる所以
吉野ヶ里遺跡を見るもそれ以上三内丸
山遺跡はまほろば
鳥賊刺しは姿づくりでピクピクし玄界
灘をそのまま食べる
人間って惨い者だね生きている鳥賊を
刺身に平気で食べる
意外にも博多名物「もつ鍋」も牛の脂
身とろけて旨し
紅生姜どっさり入れてとんこつ長浜
ラーメン細麺で喰う
活け造り刺身や屋台もつ鍋と博多名物
に夜毎に駆ける
感激の国際大会居酒屋で「また会う日
まで」を高らかに歌う
カラオケで黒田節やら無法松どっぶり
歌い杖を忘れる
福岡はアジアに顔が向いており東京圏
とは違うニッポン
福岡と北九州に空港が二つ在りしも過
密だと言う
大陸の文明文化が真っ先に九州に入り
日本が築かれる
いにしえは黒田官兵衛で福岡はそのD

NAで今も栄える

中国の偏西風の煤煙が真つ先に吹く福岡の空

天神のご真ん中では目を懲らす盲導犬のトイレもありぬ

唐津城で虹の松原眺望し華麗な「くんち」の会館も観る

旅をして所変われば品変わる珍魚いっ

ぱいの唐津の市場

北風が冷たく吹きて日本は何かにつけて南高北低

二日間観光タクシー食事つき阿部ガバナリーの心意気なり

(74年チャーター・メンバー/77歳)

燃えよっ！ みつちよこ

有請貢(愛媛県・宇和島)

私、^{ありうけみつぎ}有請貢のあだ名は「みつちよこ」。

幼い頃のおつちよこちよいでやんちゃな性格は、成人してからも変わっていない。「みつぎ」の「み」と「おつちよこちよい」の語呂合わせで、いつの間にか、こんなあだ名が付いたのかもしれない。

男勝りの母親が切り盛りする旅館の、5人兄弟姉妹の下から2番目の私は、何不自由なく自由奔放に育った。学校が終わると勉強そっちのけで、母親の目を盗んでは旅館近くの映画館で時代劇やメロドラマ三昧。

そんなわけで小・中学校の成績はいつもクラス最下位近くをキープ。高校

受験に失敗し、やむを得ず職業訓練校に入り、その後3年程自動車修理業に就いた。

しかし機械いじりが好きなわけでもなく、ましてやそそっかしい自分には「苦手」の二文字のみ。仕事を終えたある夜、母に相談を持ちかけた。

「旅館の跡継ぎは兄も放棄しているよ。うだし、弟は大学を出てサラリーマンを目指しているし、姉ちゃん二人は嫁に行ったし、俺が板前修業して旅館を盛り上げるよ！」

それから1年程経つただろうか、母に呼ばれた。

「旅館を売ることにした。父ちゃんも

寝たきりになったし、私も疲れてきた。お前は板前修業をして、いつか独立せよ。店を持つまでへこたれず、真面目にコツコツとやれば、いつかきつと花が咲く。人生に苦勞はつきもの、決してひるむな。がんばってやってみよ！」

「あちこちと板前修業の道に足を踏み入れて10年程経つた頃、独立したいという強い思いを母に伝えた。

「俺、自分の店を持ちたい。嫁さんも子どもも出来たことだし、旅がらす生活をやめて、自分の腕を試してみたい。店を出す資金を出してくれんか?」

板前修業の1日を終えると、好きな酒びたり。給料のほとんどは飲み代に消え、1円の蓄えもない。店を出す時は母親が資金を援助してくれるものと同じに込んでいた。28歳の頃である。小柄で腰の曲がった70を過ぎた母は、私をグツとにらんで一喝した。

「何甘ったれたことを言つとるんじや! 私の苦勞を知つとるはずと思つていたのに。あの時のことを想像してみよっ!」

私は母が40歳を過ぎての子どもである。この世に生を受けた昭和20年7月7日の1週間後、宇和島は大空襲を受けた。ちょうど我が家では私の出産祝いをしていた。産後の肥立ちが悪かった母は、夜の大雨の中、防空頭巾をかぶり、私を背負い逃げ惑った。雨で頭



実績 46年

ビル
マンションの
防水・補修・塗装
等
改修工事専門

ビルの延命を志向して46年。
味わい深い風貌を保ち続けて欲しい…
私たちエーコーの願いです。

エーコー総建株式会社

東京都知事許可(般26)第46720号

〒165-0023 東京都中野区江原町三丁目
34番地1号 エーコー第2ビル

TEL.03-3565-0971(代)
FAX.03-3565-0981

代表取締役社長 竹井 浩

代表取締役会長 竹井 壽一
(東京新宿ライオンズクラブ会員)

<http://www.eikohsohken.co.jp>



巾が濡れて息が出来なくなると思い、母の機転で逆さに背負い、焼夷弾の破裂音の中を命からがら防空壕にたどり着いた時には、私は心停止状態だったらしい。母と周りの人々は無我夢中で私の頬を叩いたり息を吹き掛け、それが功を奏したのか、爆弾に負けないような大声で泣き叫んで意識を取り戻した。皆で私の無事を喜んでくれ、「バンザイ! バンザイ!」と大歓声の嵐。

旅館は跡形も無く焼失し、戦火の中をぐぐり抜けた母は大病を患った。実家のある津島でしばらく療養生活を送った後、宇和島に戻り、旅館再建・復興に筆舌に尽くしがたい努力、苦勞の積み重ね。こんな母のイバラの道の話を、

日頃から繰り返し聞かされていた。

「お前が本気で自分の店を持ちたいのなら、28まで生きてきてお前のためにひと肌脱いで開店資金借金の保証人になってくれる人はいないのか。おつたらその人の保証は私がする。もしお前に間違いがあつたら私が支払う」

苦闘の末、1973年4月に雑居ビルのわずか6坪ほどの一間を間借りする形で店をスタート。調理場でお客様を迎えた時は、うれしさと、この先どんな試練が待っているかという思いで身震いした。

「今までだらしない毎日を送ってきたが、防空壕の中で九死に一生を得た俺だ! どこまでやれるか、辛抱出来るかやってみる! 母ちゃん見とけ!」創業40年の節目に当たる現在、4軒目の店は収容人数250人程の自社店舗にまでこぎつけた。ゼロから有を生

み出すことの苦しみや努力を重ねてきたと自負する。転んだりつまづいたり

の連続であったが、決して諦めなかった。地元のお客様や、遠くは京阪神、東京などからの観光客にも喜んで頂ける郷土料理をメインの店づくり、今後も命ある限り日々奮闘する覚悟。

ここまで来られたのは、言うまでもなく母親のあの日を想像しながら生きてきたからであろう。いつも何があっても笑みを絶やさない明治生まれのたくましい母は、15年前に100歳で大往生。

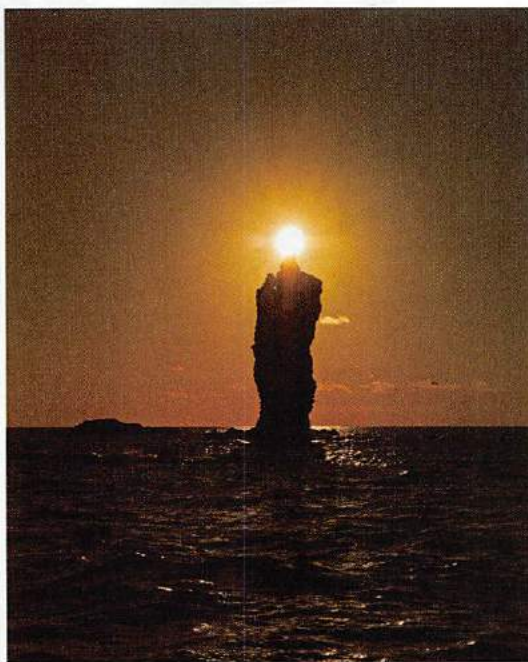
みつちよは今年で70歳。板場稼業も半世紀になろうとしている。

「母ちゃん、愛する妻、子ども、孫に囲まれてがんばってるよ! 生涯現役で、嵐が吹こうがずぶぬれになろうが生きていくからな! 続きはあの世で会って話すからな!」(91年入会/70歳)

表紙の背景

ローソク島

島根県隠岐の島町



ローソク島は、隠岐諸島の一つ島後（隠岐の島町）の沖合に浮かぶ小さな無人島。海から約20mの高さでそびえ立つ奇岩が特徴的で、ろうそくのようなその細長い岩の形状が島名の由来となっている。日本海に沈む夕日が岩の先端に重なった時、ちょうどろうそくに灯がともっているように見え、隠岐観光の人気スポットとなっている。ローソク島観光には4月から10月の期間限定で遊覧船が就航しており、船上からしか見ることの出来ない感動の瞬間に臨める。

隠岐諸島は島根半島の北約50kmにあり、島後・島前に分かれています。島後は1島だけだが、島前は中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）、知夫里島（知夫村）の「島前三島」で構成される。更に、この主要4島の他に約180もの小島が周囲の海に点在。1963年に大山隠岐国立公園となり、2013年9月9日には世界ジオパークに認定されている。

隠岐と言えば、流刑の地として、後鳥羽上皇や後醍醐天皇、また歌人の小野篁らが島流しにされたことで知られる。一方、隠岐側から見ると、こうした名だたる高貴な人々を迎え入れてきたわけで、彼らによって都の文化がもたらされたであろうことは想像に難くない。そうした歴史の中、離島ということもあいまって、有名な牛突きや古典相撲など、隠岐独特の文化がつかわれてきたのではないだろうか。

※島後に隠岐世界ジオパーク空港があり、島根の出雲縁結び空港から約30分、大阪の伊丹空港からは約1時間。また鳥取県の境港と島根県松江市の七類港から隠岐の各港まで、高速船で約1時間、フェリーで約2時間半となっている。

懐かしいノコギリ屋根工場に 新たな息吹をもたらす試み



群馬県桐生市

群馬県東部、北には足尾山地が連なり、市内を渡良瀬川と桐生川が流れる。日本を代表する絹織物の産地で、桐生織は京都の西陣織と並び称された。織物業がもたらした富は、桐生明治館、桐生倶楽部など多くの文化財や桐生が岡公園、大川美術館などを生んだ。また、織物によって育まれた技術力によって、自動車部品産業やパチンコ機械産業なども派生した。2005年に新里村、黒保根村と合併したが、両地区と桐生の旧市街地はみどり市を挟んで飛び地になっている。新里、黒保根両地区と旧市街地の面積はほぼ同じで、これほど大きな飛び地が存在するのは全国的にも珍しい。

面積／274・45平方メートル、人口／11万3572人(2016年6月1日現在※推計)

【交通アクセス】

■ 県随一の鉄道密集地帯で、JR、わたらせ渓谷鐵道、上毛電気鐵道、東武鐵道の4社が市内に乗り入れている。東京駅から上越新幹線高崎駅経由で、JR両毛線桐生駅まで、また浅草駅から東武線特急で新桐生まで、それぞれ約1時間40分

■ 主要道は国道50号、北関東自動車道・太田桐生ICから市街地まで約20分



和菓子店「青柳」のノコギリ屋根店はその名の通り、ノコギリ屋根の織物工場を改装し店舗にした。店内には天窓から柔らかい光が降り注いでいる



桐生

KIRYU

織都・桐生の象徴 ノコギリ屋根工場群

「西の西陣、東の桐生」と称される織物の町・桐生。桐生織は約1300年の歴史を持つと言われる。1600(慶長5)年の関ヶ原の戦いで、徳川家康は新田義貞の旗揚

げの由来で縁起が良いとされていた桐生の白絹の旗を用い、桐生織の名は全国に知られるようになった。江戸幕府が成立すると、織物産地として高い評価を得ていた桐生は天領となり、桐生織はますます発展することになる。しかも江戸後期には工程を分業化し、マニユファクチュア制度を確立していたという。

明治に入ると、機械化にも積極的に取り組み、市内を流れる渡良瀬川を堰き止めて発電し、織物工場に動力と電灯を供給するようになった。また、群馬県の桐生、伊勢崎、前橋、高崎と栃木県の小山、栃木、佐野、足利の各繊維都市を結ぶ鉄道・両毛線がいち早く開設された。こうして桐生織は、高級織物を中心に、昭和初期まで日本の基幹産業として栄えることになる。

その桐生で今、ノコギリ屋根の建物群が注目を集めている。これらは明治から昭和の半ばにかけて建てられた織物工場で、現在、桐生には約220棟が残っている。

ノコギリ屋根工場は19世紀、産業革命の時代にイギリスの紡績工場で採用されたのが最初だと言われる。手工業から機械工業に移行していく中で、工場規模の拡大が必要となり、天井が高いノコギリ屋根工場が採用



桐生駅近くにある美容室アッシュは大谷石で造られた旧織物工場。造船所をイメージしたという窓枠や扉の赤も印象的な建物だ



有機栽培のブドウから作ったワインを直輸入する味がないのワイン貯蔵庫は、温度管理に適した大谷石造りの旧ノコギリ屋根工場（昭和2年建築）



大正11年に建築された鉄筋コンクリート造りの旧住善織物工場は現在、40代のアーティスト5人が共同アトリエとして使っている



木造5連の旧小林絹然工場の左側3連は、とうふと京風ゆば料理「若宮」、右側2連は洋菓子店「パティスリーウチャマ」が使用している



旧井甚織物の工場は「INOJIN」としてリフォームされ、工芸教室、ギャラリーを併設したカフェとして利用されている



昭和初年に建てられた森山芳平工場は、桐生再演の作家や学生たちの熱意により修復され、現在は桐生森芳工場運営委員会が管理に当たっている

されたと考えられている。日本では1882（明治15）年、大阪紡績会社、イギリスの紡績工場を模範にノコギリ屋根工場を建てている。桐生でも1889（明治22）年、現在の桐生市役所や桐生厚生病院の周辺に、日本織物株がレンガ造りの大規模なノコギリ屋根工場を建設した。以後、幾つかの織物会社が工場にノコギリ屋根を採用、そのトレンドは周辺の中小織物工場へも広がった。最盛期、桐生には約350棟のノコギリ屋根工場があり、町のあちこちから「ガッチャン、ガッチャン」という織機（しよき）の音が聞こえていた。ノコギリ屋根では北側に天窓が設けられ、そこから差す柔らかな光が、一日中安定した明るさをもたららし、糸や織物の色を見るのを助けていた。また屋根が高いため織機の騒音を抑える効果もあり、まさに織物工場のための形状と言える建物だった。

が、電力事情が良くなり、照明器具が安価になると、わざわざノコギリ屋根にする必要がなくなってきた。更に戦後は中国や韓国の追い上げにより、日本の織物産業全体が衰退の道をたどるようになる。織都（しよと）と言われた桐生も例外ではなく、1960（昭和35）年以降、ノコギリ屋根工場はどんどん姿を消していった。



桐生駅の近くにあり、両毛線の手窓から見える森盈織物（森山英一郎社長）は今も婦人服地などを中心に織る現役のノコギリ屋根工場

主役の座に躍り出た ノコギリ屋根

90年代に入ると、そんなノコギリ屋根工場に、光を当てる動きが出てきた。きっかけとなったのは桐生在住の高校教諭、野口三郎さんによるノコギリ屋根工場の実態調査だった。野口さんは89年から10年間、棟数の推移や建築規模などさまざまな調査を行った。これが、桐生市による近代化遺産調査の実施につながり、市内に残存するノコギリ屋根工場が脚光を浴びるようになる。

また、これとは別に、東京の美大生らが桐生の町並みや建物を芸術表現の場とするアートイベントに取り組み始めた。アートを通じて「休演」中の古い町並みや建物を蘇生し「再演」させられれば、との思いで「桐



近代化産業遺産に指定されている織物参考館 紫（ゆかり）は森秀織物の現役工場でもある

生再演」と名付けたプロジェクトを、94年から2010年まで開催した。

そんな中、ノコギリ屋根工場を商業施設やアトリエなどへ再生活用する動きも広がってきた。

その一つ、旧金谷レース工業のノコギリ屋根工場は2008年、パン製造販売・飲食店の「ベーカリーカフェレンガ」となった。店主の武田敏央さんは、ノコギリ屋根工場を持つ織物会社の3代目だった。しかし、会社は不況により40年前に廃業。その時、ノコギリ屋根の工場も取り壊していた。その苦い思い出から、国の登録有形文化財にもなっている旧金谷レース工業の工場再生を決意した。今では市民だけではなく、観光客も大勢訪れ、店が休みの日にはコンサート会場として提供するなど、町の活性化に貢献している。



星誠織物(彩星野公男)のノコギリ屋根工場



星誠織物の織機は4~8寸と幅が広く、太い糸を使った高張力の織物や巾の広い織物が作られている

また、旧東洋紡織工場だった石造3連・木造3連の工場は、「桐生再演」の会場を経て、現在は和菓子店「青柳(宮地由高社長)」の店舗及び菓子工房に生まれ変わっている。こちらにも木造3連の建物はイベントホールとして活用、コンサートや展示会などに無償で提供している。表通りから引っ込んでいたため、周囲からは出店を反対されたそうだが、桐生市ボランティア協会の代表を務め

るなど、地域貢献に積極的な宮地社長が、桐生の象徴であるノコギリ屋根を残したいと、店舗として改装した。今では、インターネットなどで調べ、わざわざ探して訪ねてくれる県外のお客さんもいるという。

これら桐生のノコギリ屋根工場は、「優れた生産体制等により支えらるる両毛地域の絹織物業の歩みを物語る近代化産業遺産群」として、経済産業省の近代化産業遺産群33の一つに選ばれている。桐生織物は江戸時代には既に分業制を取っていたわけだが、機械化された後も各工程の業者が織元と賃業契約によって結ばれ、多様で柔軟な生産を行ってきた。桐生に小規模ノコギリ屋根工場が多いのは、こうした多品種少量生産を

特徴とする産地であるためだ。

また産地としての桐生織を見た場合、一口に織物と言っても、近年は伝統的な和装関連商品から婦人服地やインテリア資材に至るまで、さまざまな形態に分かれている。例えば、桐生中央ライオンズクラブの彩星野公男が経営する星誠織物は、製紙メーカーや建材メーカーなどのために、産業資材織物を受注生産。中国や東南アジアなどにはない技術力で、一つの分野に特化した織物を作っている。桐生には他にも、特別の技術力を持つ工場や、優れた意匠によって高い評価を得ている会社も多い。

桐生のノコギリ屋根工場もまた、桐生織と同様、柔軟で多様な形態での生き残りを図っているところだ。

▼取材協力クラブ

桐生ライオンズクラブ(宮崎武会長/14人) ■1962年4月30日結成/スポンサー…東京芝ライオンズクラブ、栃木県・足利ライオンズクラブ/47都道府県で最後に残った群馬県第1号のライオンズとして誕生。その少し前結成目前までいきながら、集まった会員がそっくりそのままロータリークラブを作るといふ珍事に見舞われたが、足利ライオンズクラブの尽力や桐生タイムス社の協力で結成にこぎ着けた。桐生図書館にライオンズ文庫



桐生中央ライオンズクラブの例会場・桐生倶楽部会館は日本最古のスパニッシュコロニアル様式の建築物と言われる

を設け毎年歳書を追加する他、360年の歴史を持つと言われる桐生祭り終了後の清掃活動などを継続事業としている。静岡県・熱海ライオンズクラブとは友好クラブとなっている。

桐生中央ライオンズクラブ(新井敏雄会長/19人) ■1968年4月2日結成/スポンサー…桐生ライオンズクラブ/少年サッカー、高校生ラグビーなどスポーツを通じた青少年育成事業や、障害者との交流事業に力を入れている。毎月1回、誕生月の会員を囲んで誕生会を開催するなど、仲の良さには定評がある。89・90年度には大島宗作ガバナの下、333・A(現D)地区キャビネットを構成した。新潟県・柏崎、千葉県・銚子両クラブと姉妹提携を結んでいる。

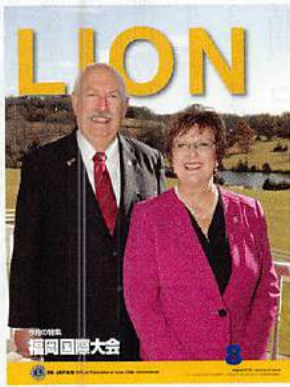
読者から——8月号

■会員減少に新人獲得が急務

福岡国際大会の記事は、参加したメンバーはもとより、参加出来なかったメンバーにも伝わるものでしたし、山田国際会長の退任スピーチの全文掲載も良かったと思います。

そんな中、2015・16年度末の世界の会員数と日本の会員数の記事が目にとまりました。期首と比較して、世界で1547人の純増とはいえ、日本では806人の純減です。5月末の時点では5574人の純増だったことを鑑みると、6月末までのたった1カ月で6380人が退会したことになります。

ライオンズクラブにおいて、会員が減れば奉仕の質が落ちるといふ意味で、会員の量と質は比例します。退会の原因は何かを探ることも大事ですが、今こ



読者プレゼント

■桐生名物からっ風カリンを読者10人に



今月号「ふるさと探訪」(49～53頁)で紹介した群馬県桐生市の和菓子店・青柳の「からっ風カリン(かりんとうまんじゅう)」を10人の読者にプレゼントします。北海道産の最上級小豆を使った自家製餡と、熟成焦がし蜜を練り込んだ皮の相性が抜群の和菓子です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「からっ風カリン」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は10月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 一般社団法人日本ライオンズライオン誌読者プレゼント係
*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp)の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

そ各クラブが質を高めた活動を行い、その活動に共鳴する新人獲得が急務なのではないでしょうか。

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ

●大南修平

■天皇・皇后両陛下のご臨席

まだライオン歴が浅く、ライオンズクラブの歴史をよく知らない私は「この日・この月」を読み驚きました。なぜなら、1969年7月、アジアで初めて開かれた第52回国際大会の開会式に昭和天皇・皇后両陛下がご臨席されたとの事実を全く知らなかったからです。

福岡国際大会においても6月26日の初日総会で寛仁親王妃信子様にご祝辞を頂きました。その時は、ライオンズクラブも皇族の方々のご理解を得ながら活動することが出来ているのだと漠然と思っただけでした。

しかしながら、今月号の「この日・この月」の中で第52回国際大会の開会式における昭和天皇のお言葉を拝読し、昭和生まれの私としては改めていたく感銘を受けた次第です。

恐らく、現時点では数多くの昭和生まれライオンズ・メンバーがおられると思いますが、より多くのそれらの方々にこの時

の昭和天皇のお言葉を知って頂きたいものです。

兵庫県・芦屋東ライオンズクラブ

●森川晴之

■西川国際理事の退任に

特集されていた福岡国際大会の記事、楽しく見させて頂きました。私もずっと国際大会に参加して、写真を撮り続けています。

また、私共のいる335複合地区から出ていました西川国際理事の報告も2年間お疲れさまでしたという気持ちで読ませて頂きました。

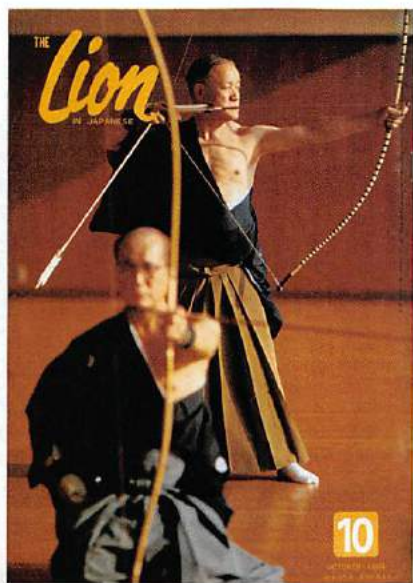
大阪鶴見ライオンズクラブ ●井上芳幸

「厚い壁」

玉井正雄（福岡文化ライオンズクラブ）

失明にも程度があつて、一番ひどいのが光覚さえないものである。太陽の所在も分からないし、目の前でストロボをたかれても全く感じない。

私の場合、不思議なことにダークオレンジとダークブルーの2色は感じる。失明して1年余



り経った頃、初めて経験したのだが、ダークブルーの中にまるで畳を横にしてボンと置いたように、矩形のダークオレンジが視覚を占領する。それが眼前の10〜15センチの近い間合いにあるので、歩けばぶつかりそうな錯覚を覚え、不安になった。

しばらく歩いてみると、いつの間にか全面ダークオレンジに変わったりして、先程までの壁とも畳ともつかぬ障害物は消え、不安感がなくなる。こういう壁は、経験を重ねるとどうってことない、と思うようになる。

意外に性根の悪い壁は、身体障害者に対する一般の偏見である。ほとんど失明に近づいた頃、友人が、

「気の毒だなあ」

と言うと、私は切り返すように、

「同情と憐憫れんぴんは紙一重だから、同情されるのは嫌いなんだ」

と言う。相手はさすがに鼻白む。

手術が失敗して、生涯光を取り戻すことはないと思つた後、鎌倉に住む友人から電話があり、

「大変だなあ、大変だなあ」と繰り返す。

「そんなに大変か、じゃあ俺も大変だと思わなくっちゃなあ」

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

「相変わらずだなあ」

「言い、それ以上同情の言葉は続かない。」

日本画家の友人が、事務所に

出ていた私を訪れ、水蜜桃の箱を抱えて入ってくるなり、

「どげんしよるな」

と、それが最初のあいさつだ。

「ウン、十何年来土曜日は休みじゃから、それ以外の日は出てきよるよ」

と、奥の部屋に招き入れ、向かい合つて座ると、彼はしばらくもじもじしていたが、

「わしの肝臓の先生に、急に盲目になつた者にどんなあいさつをすればよかとでしようかと聞いたら、先生はちよつと考へて

いたが、これまで通りにしときなさい、と言いつつしゃつた。それで、どげんしよるな、と言つた

たとはって、やっぱり後が続かんなあ」

と言ひ、不自由になつたこと

への見舞いを恐る恐る切り出し、「あんたば励ます会やらせんとかな」

と尋ねてきた。

それで私は、そのような会を好まないこと、今、口述筆記で沖繩戦記『風に立つ』の著述に

取り掛かつたから、出版した時、パーティーでも開こうと思つて

いること、気の早い東京の友人はもう祝賀パーティーを引き受けると言つてきたり、また他の友人は、書き上がつてもいないのに100部予約を取つたと電

話をしてきた。友情とは誠に得難く、ありがたいものだとしみじみ感謝している旨、答へた。

これまで通りに扱えという内科医の見識は、誠に立派なものだと感服しているが、多くの人は目が見えなくなつたと言つと、

悪意はなくとも、これまでとは違つた扱いをするものである。国際障害者年で「障害者に平等の権利を」と訴へたことの重い

意味を、肌で覚える昨今である。

ライオン誌例会のススメ

— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■ クラブ会員の平均年齢は？

今月号特集「ライオンズ統計」のデータ収集のため、7月末に全クラブを対象にしたクラブ・アンケート(eMIR Servannaで実施)を行った。平均年齢を尋ねる質問で、有効回答数1078クラブのうち最も年齢が低かったのは、大阪ニューセンチュリーライオンズクラブの38歳。30歳台のクラブはこの1クラブだけで、40歳台のクラブは32クラブ、全体の3・0%だった。平

クイズ de 例会

〈第1問〉2016年6月末時点で、東洋・東南アジア地域で3番目に会員数が多い国は？

- a. 中国 b. 台湾
c. フィリピン

〈第2問〉世界で5番目に会員数が多い国は？

- a. ドイツ b. 台湾
c. ブラジル

〈第3問〉会員数上位10カ国のうち最も女性会員の割合が高い国は？

- a. カナダ b. 中国
c. ブラジル

〈第4問〉2015-16年度の日本のクラブのアクティビティが最も多かった項目は？

- a. 青少年関係
b. 献血 c. 環境保全

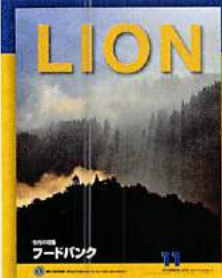
〈第5問〉眼鏡リサイクル・プログラムでライオンズが年間に集める眼鏡の数は？

- a. 800万 b. 1千万 c. 3千万

★回答は54%下

1958年10月

均年齢が最も高かったのは、埼玉県・熊谷シニアライオンズクラブの80歳。70歳台のクラブは50クラブで、全体の4・6%だった。最も多かったのは平均年齢60歳台で610クラブ、56・6%。次いで50歳台が384クラブ、35・6%だった。



11月号予告

特集 フードバンク

日々の糧を満身に得られない困窮家庭がある一方、包装のわずかな傷や賞味期限までの期間が短いという理由で大量の食品が廃棄されている。企業などから販売出来ない食品

を集め福祉施設や困窮家庭に届けるフードバンクの取り組みと、ライオンズの活動をレポートする。

1958年10月4日〜7日、アジアのライオンズが集う第2回アジア大会が東京で開催された。当時、日本と台湾、香港、フィリピンで構成されていたエリア17の大会で、現在の東洋・東南アジア(OSEAL)フォーラムの前身。エリア内4カ国の代表団の他に、特別オブザーバーとしてインド、ハワイの代表



が集い、外国のメンバーら百数十人を含む400人が参加した。第1日目には東京會館で国旗掲揚式があり、その後の午餐会ではハワイとインドの主席代表から報告がなされた。302地区日本事務局の岡野昌長事務局長は、「ライオン誌」1958年10月号

に次のように報告している。「インドのライオンズムの発展は質実にしてしかも健全であり、その拡張力の強大なるに驚いた。現ガバナール、パンドールの風貌もまた我々に何かしら考えさせ、人類と共に苦しみ、悩める者を救わんとする英雄の姿を感じさせるのであった。東洋のライオンズムを背負って立つものはインドか？ この機会にあった者等しくこの感を深くしたに相違ない」

インドにおけるライオンズクラブ結成は、日本から4年遅れの56年。本号23頁のデータにある通り、99年に日本を抜いて会員数世界第2位のライオンズ国となったインドの躍進を予見していたかのようだ。



EXECUTIVE OFFICERS

President Chancellor Robert E. "Bob" Corlew, Milton, Tennessee, United States; Immediate Past President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; First Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India; Second Vice President Gudrun Yngvadottir, Gardabaer, Iceland; Third Vice President Jung-Yul Choi, Busan City, Korea. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS

Second Year Directors

Melvyn K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birgani, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillipi, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo Leon, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

First Year Directors

Bruce Beck, Minnesota, United States; Tony Benbow, Vermont South, Australia; K. Dhanabalan, Erode, India; Luiz Geraldo Matheus Figueira, Brasilia, Brazil; Markus Flaaming, Espoo, Finland; Elisabeth Haderer, Overeen, The Netherlands; Magnet Lin, Taipei, Taiwan; Sam H. Lindsey Jr., Texas, United States; N. Alan Lundgren, Arizona, United States; Joyce Middleton, Massachusetts, United States; Nicolin Carol Moore, Arima, Trinidad and Tobago; Yasuhisa Nakamura, Saitama, Japan; Aruna Abhay Oswal, Gujrat, India; Vijay Kumar Raju Vegesna, Visakhapatnam, India; Elien van Dille, Ronse, Belgium; Jennifer Ware, Michigan, United States; Jaepung Yoo, Cheongju, Korea.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Website: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される-英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会

国際理事	安井 克之	
国際理事	佐藤 宜之	
国際理事	中村 泰久	
委員長	石井 博之	(334複合地区)
編集長	佐藤 義則	(332複合地区)
委員長	久津間康允	(330複合地区)
委員長	佐々木忠康	(331複合地区)
委員長	渡邊 信也	(333複合地区)
委員長	中村 房雄	(335複合地区)
委員長	矢野 敏明	(336複合地区)
委員長	小柴 登司	(337複合地区)

一般社団法人日本ライオンズ
ライオン誌日本語版委員会
〒04-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

2016・17年度『ライオン誌』日本語版編集方針



ライオン誌
日本語版編集長

佐藤義則
(宮城県・蔵王)

今年度、編集長に選任されました。昨年度は日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所の統合に関する諸手続きや各会則地域フォーラムの取材、ライオン誌デジタル化の準備と大変めまぐるしい1年でした。今年度は引き続き、2018年1月からのデジタル版への移行と併せて印刷版の発行について検討し、その準備

を進めてまいります。ポブ・コーリユー国際会長のテーマの通り「次なる山を目指して」大きな変革を迫られております。経験豊かな委員と共に、きつと期待以上の対応が出来るかと確信しております。以下に今期の編集方針を明示します。

1 国際協会創設100周年の節目に際し、100周年記念奉仕チャレンジ及び100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトへの各クラブの参加が推奨されています。その成果を誌面で紹介していきます。ク

2 「ライオンズ・ニュース・カセット」欄の更なる充実を図ります。国内外の有益な情報を収集し、本欄に掲載しきれないものはライオン誌デジタル版のサイト内に掲載します。

3 昨年度設置したデジタル化小委員会を継続し、会員を対象としたアンケートで意見を集めた上で、今年度中にデジタル化への

の対応を完了させます。

4 ライオン誌デジタル版のウェブサイトにへの情報集積を進めます。昨年度は1958年創刊号以降のバックナンバーのデジタル化を進め、これを公開しました。ライオン誌をオンラインで読むだけでなく、会員の求める情報を発信出来るように整備していきます。

ライオンズ会員の情報源としての重責を果たすべく、誌面はもちろんオンラインでの情報発信も積極的に推進してまいります。今後ともライオン誌をよろしくお願致します。

日本ライオンズクラブ分布図

2016.8.31 eMMR ServannA報告による

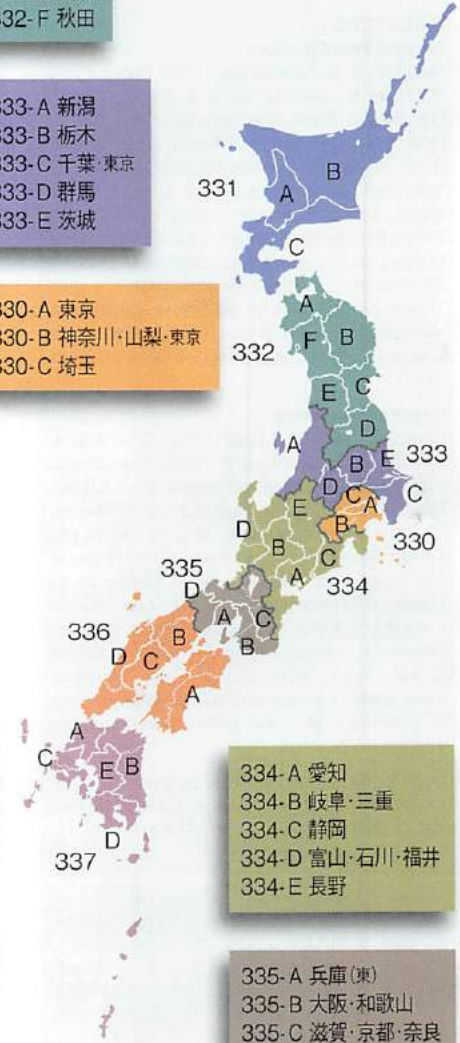
地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	200	6,441	38	4,666	1,775 (27.6)	1,850	4	605	1,245
330-B	166	4,546	47	3,828	718 (15.8)	482	-3	135	347
330-C	85	2,371	20	1,927	444 (18.7)	376	-2	119	257
330 計	451	13,358	105	10,421	2,937 (22.0)	2,708	-1	859	1,849
331-A	73	2,754	20	2,219	535 (19.4)	457	-2	80	377
331-B	85	2,775	33	2,220	555 (20.0)	490	9	65	425
331-C	51	1,953	31	1,588	365 (18.7)	340	8	83	257
331 計	209	7,482	84	6,027	1,455 (19.4)	1,287	15	228	1,059
332-A	64	2,160	37	1,678	482 (22.3)	383	5	84	299
332-B	53	2,451	35	1,614	837 (34.1)	859	6	151	708
332-C	67	1,902	13	1,349	553 (29.1)	529	4	115	414
332-D	72	2,541	51	1,952	589 (23.2)	538	11	112	426
332-E	56	2,071	37	1,613	458 (22.1)	397	12	63	334
332-F	44	1,404	4	1,024	380 (27.1)	329	2	58	271
332 計	356	12,529	177	9,230	3,299 (26.3)	3,035	40	583	2,452
333-A	74	3,260	33	2,572	688 (21.1)	649	7	165	484
333-B	49	1,785	43	1,122	663 (37.1)	602	17	152	450
333-C	133	3,501	-38	2,689	812 (23.2)	534	-49	159	375
333-D	54	2,465	19	1,781	684 (27.7)	711	-15	170	541
333-E	82	4,909	88	3,173	1,736 (35.4)	1,981	-4	538	1,443
333 計	392	15,920	145	11,337	4,583 (28.8)	4,477	-44	1,184	3,293
334-A	120	7,011	124	4,631	2,380 (33.9)	2,443	22	490	1,953
334-B	78	4,809	39	3,263	1,546 (32.1)	1,723	-28	358	1,365
334-C	80	3,505	24	2,883	622 (17.7)	559	-13	80	479
334-D	97	5,919	114	3,946	1,973 (33.3)	2,119	50	392	1,727
334-E	52	2,714	28	1,906	808 (29.8)	836	0	224	612
334 計	427	23,958	329	16,629	7,329 (30.6)	7,680	31	1,544	6,136
335-A	81	2,158	17	1,693	465 (21.5)	214	-8	27	187
335-B	170	6,685	68	4,867	1,818 (27.2)	1,534	11	307	1,227
335-C	115	4,101	52	3,438	663 (16.2)	402	-9	96	306
335-D	64	2,041	-2	1,578	463 (22.7)	330	-3	75	255
335 計	430	14,985	135	11,576	3,409 (22.7)	2,480	-9	505	1,975
336-A	147	6,219	114	4,714	1,505 (24.2)	1,120	19	214	906
336-B	95	3,419	27	2,707	712 (20.8)	500	2	78	422
336-C	96	3,514	72	2,962	552 (15.7)	375	27	70	305
336-D	93	3,432	41	2,839	593 (17.3)	421	-3	41	380
336 計	431	16,584	254	13,222	3,362 (20.3)	2,416	45	403	2,013
337-A	116	5,554	67	3,997	1,557 (28.0)	1,252	13	276	976
337-B	69	2,915	22	2,152	763 (26.2)	759	-3	166	593
337-C	80	4,215	-18	2,791	1,424 (33.8)	1,498	-35	439	1,059
337-D	76	2,400	49	2,054	346 (14.4)	190	2	37	153
337-E	58	1,780	13	1,455	325 (18.3)	227	5	64	163
337 計	399	16,864	133	12,449	4,415 (26.2)	3,926	-18	982	2,944
総計	3,095	121,680	1,362	90,891	30,789 (25.3)	28,009	59	6,288	21,721

331-A 北海道(道央)
331-B 北海道(道北・道東)
331-C 北海道(道南)

332-A 青森
332-B 岩手
332-C 宮城
332-D 福島
332-E 山形
332-F 秋田

333-A 新潟
333-B 栃木
333-C 千葉・東京
333-D 群馬
333-E 茨城

330-A 東京
330-B 神奈川・山梨・東京
330-C 埼玉



334-A 愛知
334-B 岐阜・三重
334-C 静岡
334-D 富山・石川・福井
334-E 長野

335-A 兵庫(東)
335-B 大阪・和歌山
335-C 滋賀・京都・奈良
335-D 兵庫(西)

336-A 徳島・高知・香川・愛媛
336-B 鳥取・岡山
336-C 広島
336-D 島根・山口

337-A 福岡・長崎
337-B 大分・宮崎
337-C 佐賀・長崎
337-D 鹿児島・沖縄
337-E 熊本

世界のライオンズ
2016.8.31 国際協会集計

国または領域……212 クラブ数……46,876
会員数……1,384,577 会員数増減……5,087

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書

●ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ
1部500円・送料実費



●ライオンズ新書02 LCIF早分かり 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 184ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引：100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●大口注文割引：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編・ライオンズクラブ入門 第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●上級編・リーダーシップを養う 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

- 合計で2万円以上で注文の場合、送料無料（組み合わせは問いません）。※ただし、急ぎの場合は実費請求
- お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします

ライオン誌日本語版出版物 注文書

- 『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド……………部
- 『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド……………部
- ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』……………部
- ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』……………部

地区名 33 -	クラブ名	お名前 (クラブで注文の場合は不要)
ご住所 〒 -		お電話番号



世界中の子どもたちの笑顔が見たい!



Lions Clubs International
FOUNDATION

300 W 22ND STREET, OAK BROOK, IL 60523-8842, USA

Phone: 630-571-5466 Fax: 630-571-5735

E-mail: lcif@lionsclubs.org

<http://www.lcif.org/JA/index.php>